BUFFALO

WLI2-TX1-G54
ユーザーズマニュアル

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

⚠注意 **マーク** 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。 この注意事項に従わなかった場合、 身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモ **マーク** 製品の取り扱いに関する補足事項、 知っておくべき事項です。

▶参照 **マーク** 関連のある項目のページを記しています。

・文中 [ ] で囲んだ名称は、 操作の際に選択するメニュー、 ボタン、 テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。
・文中 『』 で囲んだ名称は、 ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。
・本書では原則として WLI2-TX1-G54 を本製品と表記しています。
・本書では原則として弊社製無線アダプタを装着したパソコンを無線パソコンと表記しています。
・ケーブルで接続された 10/100BASE の LAN とケーブルを使用しない無線 LAN を明確にするために本書では次の用語を使用しています。
有線 LAN…ケーブルで接続された LAN
無線 LAN…無線通信を使用した LAN
上記は、 説明のために本書のみで便宜上使用する用語であり、 一般的には使用されません。あらかじめご了承ください。
・本書では原則として本製品を設定するパソコンを設定用パソコンと表記しています。

■　安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、 本製品を安全にお使いいただくために、 守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、 必ずお読みになり、 内容をよく理解された上でお使いください。 お読みになった後は、 必ずお手元に置き、 常に参照できるようにしてください。 なお、 本書には、弊社製品だけでなく弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。 また、 製品のマニュアルと重複する内容も含まれています。

パソコンの故障／トラブルや、 いかなるデータの消失・破損または取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは弊社の保証対象には含まれません。 あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告、注意を促す記号です。 △の中や近くに、具体的な警告内容が描かれています。（例：感電注意）
⃠	⃠は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ⃠の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の中や近くに、具体的な指示内容が描かれています。 （例：プラグをコンセントから抜く）

警告

禁止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあります。

- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（柵）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具に近付けたり、過熱したりしないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

分解禁止

本製品の分解や改造はしないでください。
火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、ＡＣ コンセントから AC アダプタを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにAC アダプタを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

AC100V（50/60Hz）以外の ＡＣ コンセントには、絶対に AC アダプタを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制

AC アダプタは、ＡＣ コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

液体や異物などが内部に入ったら、ＡＣ コンセントから AC アダプタを抜いてくだい。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあります。

強制

本製品に接続されているケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
けがをする危険があります。

強制

AC アダプタは必ず本製品付属のものをお使いください。
本製品付属以外の AC アダプタをご使用になると､電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

注意

禁止

AC アダプタが AC コンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。
感電の原因となります。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

禁止

次の場所には設置しないでください。
感電、火災の原因となったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界が発生するところ（故障の原因となります）
- 静電気が発生するところ（故障の原因となります）
- 震動が発生するところ（けが、故障、破損の原因となります）
- 平らでないところ（転倒したり、落下して、けがの原因となります）
- 直射日光が当るところ（故障や変形の原因となります）
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ（故障や変形の原因となります）
- 漏電の危険があるところ（故障や感電の原因となります）
- 漏水の危険があるところ（故障や感電の原因となります）

■　電波に関する注意

●本製品は、 電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。 従って、 本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。 また、 本製品は、 日本国内でのみ使用できます。

●次の場所では、 本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近の磁場、 静電気、 電波障害が発生するところ、 2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く （環境により電波が届かない場合があります。）

●本製品は、 技術基準適合証明を受けていますので、 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解／改造すること
- 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

●本製品の無線チャンネルは、 以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業 ・ 科学 ・ 医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

  ①構内無線局 （免許を要する無線局）

  ②特定小電力無線局 （免許を要しない無線局）

●本製品を使用する場合は上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、 以下の事項に注意してください。

1 本製品を使用する前に、 近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、 本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、 速やかに本製品の使用周波数を変更して、 電波干渉をしないようにしてください。

3 その他、 本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、 弊社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	OFDM 方式 / DS-SS 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、 かつ 「構内無線局」 「特定小電力無線局」 帯域を回避可能

はじめに

このたびは、 本製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
本製品は、 有線ネットワーク機器の LAN ケーブルを無線化にする製品です。 本書をよくお読みの上、 正しくお使いください。

■ 本製品の特長

本製品は、 ネットワーク機器の有線 LAN ポートを無線化するイーサネットコンバータです。 有線 LAN に接続可能なパソコン／ゲーム機／デジタル家電／プリンタ等を無線化することができます。 主な特長は、 次の通りです。

• IEEE802.11g 規格に準拠し、 通信速度 54Mbps の通信が可能。
※ 2Mbps 無線カードとは接続できません。
• AOSS 対応
• ローミング機能に対応しているため、 移動しながらの通信が可能。
※ データ通信中にローミング機能が働くと、 通信が途切れることがあります。
• ネットワーク負荷を軽減する多チャンネル （1ch ～ 13ch） 機能を搭載。
• 128/64 ビット WEP 対応。
※ 128 ビット WEP を使用する場合、AirStation や無線アダプタも 128 ビット WEP に対応している必要があります。（128 ビット WEP と 64 ビット WEP の併用はできません)。

⚠注意 本製品をハブと接続して使用することは、 サポートしていません。

■ 設定に必要な環境

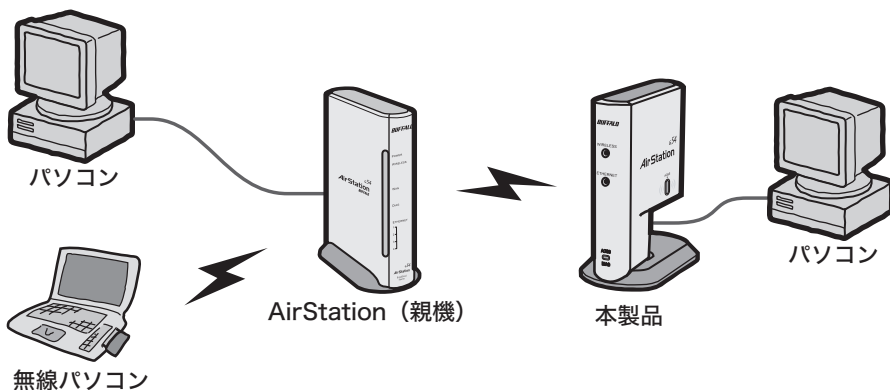
下記のいずれかのパソコン
・ Windows XP/2000/Me/98/95/NT4.0 搭載パソコン
・ Macintosh ［Mac OS 8.6 以降］ （ただし、 WEB ブラウザが必要です。）
※ WEB ブラウザで本製品の設定をおこなう際は、 以下のバージョンの WEB ブラウザが必要です。
・ Internet Explorer5.0 以降 ・ Netscape Navigator6.0 以降 ・ Safari1.0 以降
※ Macintosh をお使いの場合、 ファームウェアのアップデート機能が使えません。

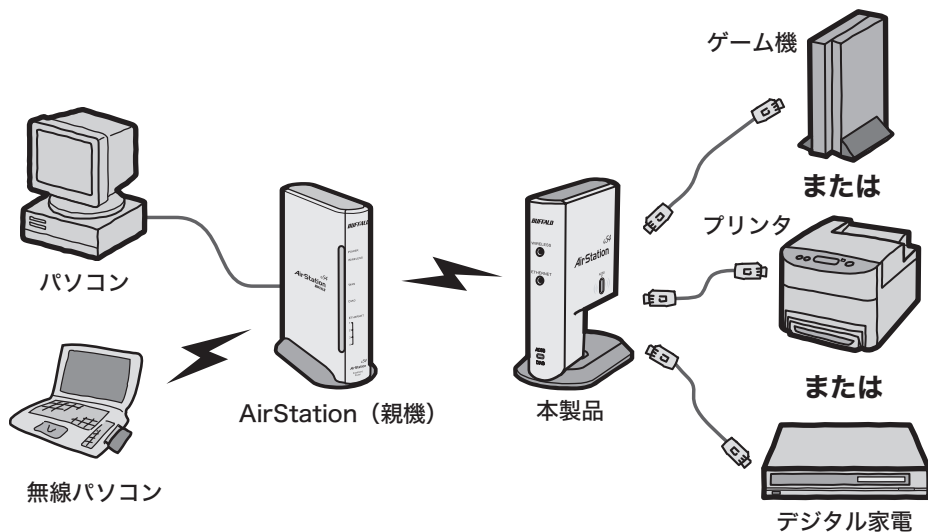
■ 対応機種

有線 LAN 接続可能な以下の機器
パソコン ／ ゲーム機 ／ デジタル家電 ／ プリンタ

■　本製品の使用例

パソコンを無線ネットワークにつなぐ場合

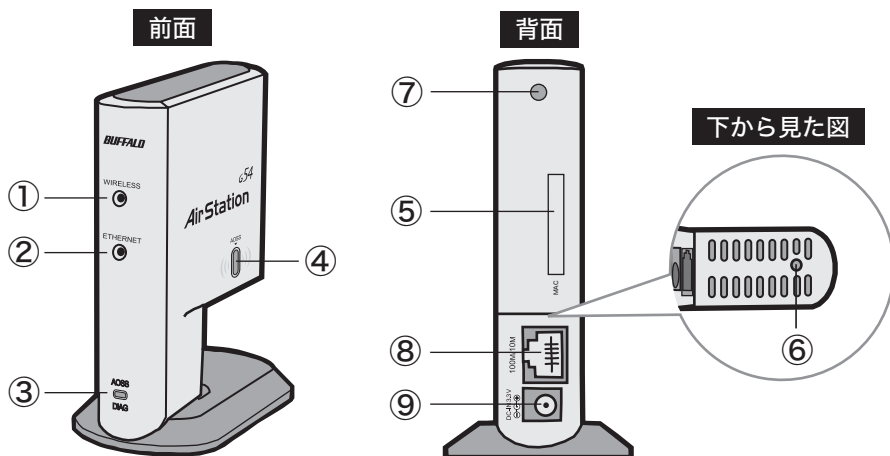
⇒ 「第 1 章 パソコンを無線ネットワークにつなごう」 (P.9) を参照して、 設定をおこなってください。

ゲーム機、デジタル家電やプリンタを無線でつなぐ場合

⇒「第 2 章 ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタを無線でつなごう」(P.19) を参照して、設定をおこなってください。

■　パッケージ内容

パッケージには、 次の物が梱包されています。 万が一、 不足しているものがありましたら、 お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 本製品 . . . . 1 台
- AC アダプタ . . . . 1 個
- Ethernet Convertor CD . . . . 1 枚
- ユーザーズマニュアル （本書 ・ 保証書つき） . . . . . 1 冊
- LAN ケーブル （ストレート） . . . . 1 本

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、 必ず参照してください。

■　各部の名称とはたらき

① WIRELESS ランプ　点灯（緑）：無線 LAN 接続が有効時
点滅（緑）：無線 LAN 通信中
激しく点滅（緑）：AOSS 動作時（セキュリティキー交換処理中）

② ETHERNET ランプ　点灯（緑）：リンク時

③ AOSS/DIAGランプ　ランプの点灯状態により、下記の状態を示します。

⚠注意　**AOSS/DIAG ランプは、本製品の設定時とファームウェア更新時も点灯（赤）します。このときは、絶対に AC アダプタをコンセントから抜かないようにしてください。**

設定書き込み時、ファームウェア更新時以外にランプが赤点滅する場合は、一度 AC アダプタをコンセントから抜いて、しばらくしてから再度差し込んでください。再びランプが点滅する場合は、弊社修理センター宛てに本製品をお送りください。

点滅回数	内　容
点滅（黄）	AirStation とセキュリティキー交換処理を行える状態（AOSS 動作状態）
激しく点滅（黄）	セキュリティ交換が失敗
点灯（黄）	セキュリティ交換が成功し、運用中
連続点滅（赤）	設定書き込み時およびファームウェア更新時
１回（赤）	内蔵 RAM が故障しています。
２回（赤）	フラッシュ ROM が故障しています。
３回（赤）	有線 LAN コントローラが故障しています。
４回（赤）	無線 LAN コントローラが故障しています。
９回（赤）	その他の異常

④ AOSS ボタン　電源 ON 時に、AOSS/DIAG ランプが黄色点滅するまで（約 3 秒間）スイッチを押すと、AirStation とセキュリティキー交換処理を行える状態（AOSS 動作状態）になります。

⑤ MAC アドレス　本製品の MAC アドレスが記載されています。

⑥ 設定初期化スイッチ　電源 ON 時に、AOSS/DIAG ランプが赤色点灯するまでスイッチを押すと（約 3 秒間）、本製品が初期化されます。

⑦ 外部アンテナ用コネクタ　別売の外付けアンテナを接続します。
ふたを外してから接続します。

⑧ LAN ポート　有線 LAN 接続可能なパソコン / ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタなどを接続します。

⑨ DC コネクタ　付属の AC アダプタを接続します。

目　次

第 1 章
パソコンを無線ネットワークにつなごう

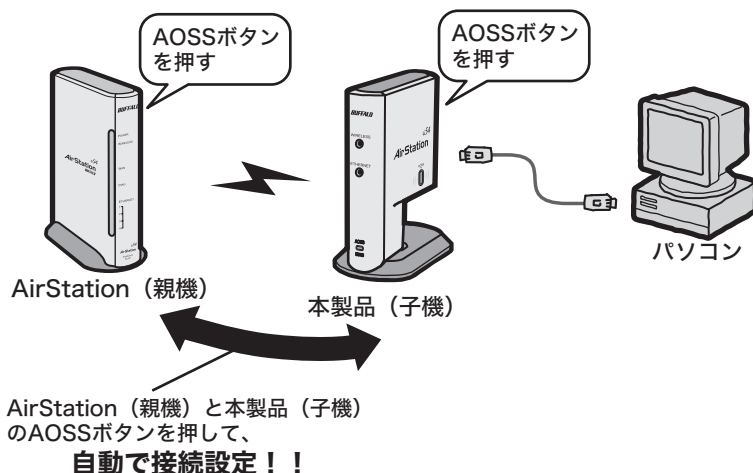
LAN ポートを搭載したパソコンを無線パソコンとして使います。

1.1 設定のしかた

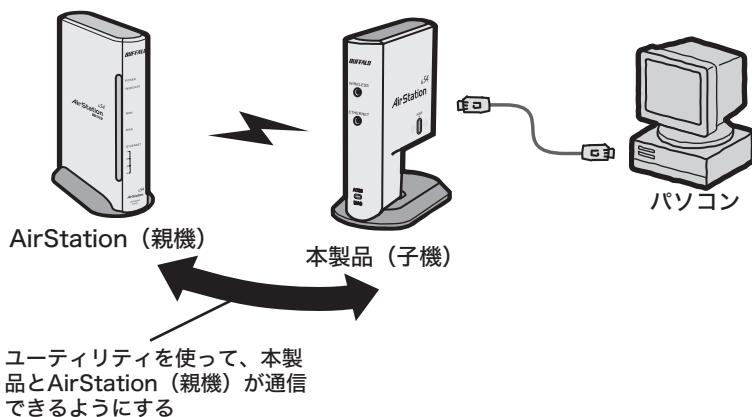
本製品のセットアップは、下記の２つの方法があります。環境に合ったセットアップ方法を選んで、セットアップをおこなってください。

• ボタンを押して自動的に設定をおこなう （AOSS）
• パソコンからユーティリティを実行して設定する

■ ボタンを押して自動的に設定をおこなう場合 （AOSS）

※ AOSS に対応した AirStation （親機） をお使いの場合は、 この手順で設定してください。

⇒ 「ボタンを押して自動的に設定する （AOSS）」 （P12） を参照して設定をおこなってください。

■　パソコンからユーティリティを実行して設定する場合

※ AOSS に対応していない AirStation （親機） をお使いの場合は、 この手順で設定してください。

⇒ 「パソコンからユーティリティを実行して設定する」 （P15） を参照して設定をおこなってください。

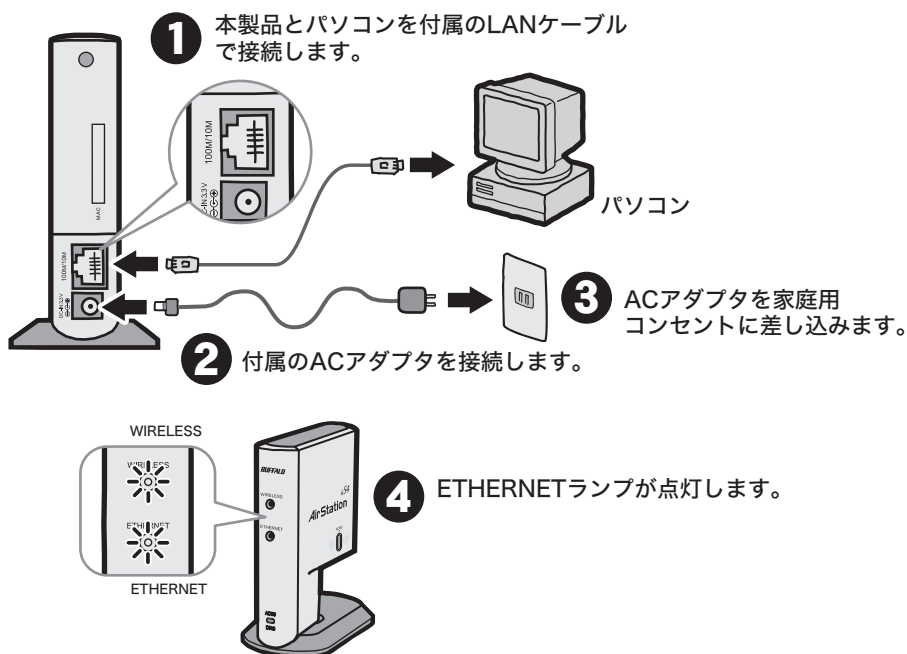
1.2 ボタンを押して自動的に設定する（AOSS）

パソコンを AOSS 対応の AirStation （親機） に、 無線で接続する手順を説明します。

メモ AOSS に対応していない AirStation（親機）をお使いの場合は、この手順で接続することはできません。「パソコンからユーティリティを実行して設定する場合」（P11）を参照してください。

Step 1 本製品 （子機） を接続しよう

本製品 （子機） を付属の LAN ケーブルでパソコンに接続します。

メモ ・ パソコンの有線 LAN ポートが正しく動作していることを確認してください。

※ ETHERNET ランプが点灯しないときは、 一度 AC アダプタを抜き差しして、 電源を入れなおしてください。

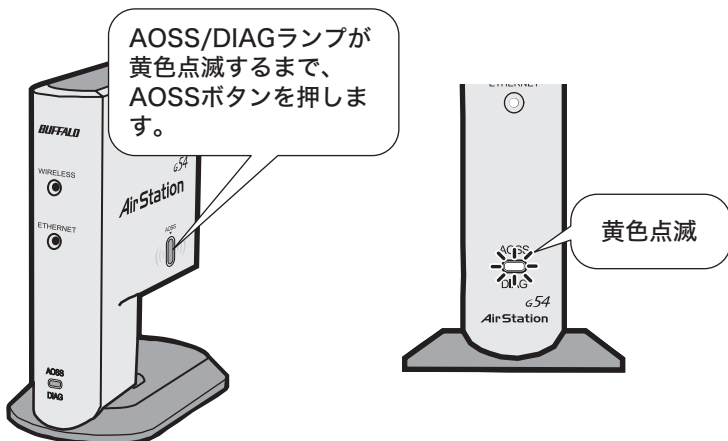
Step 2 本製品（子機）の設定をしよう

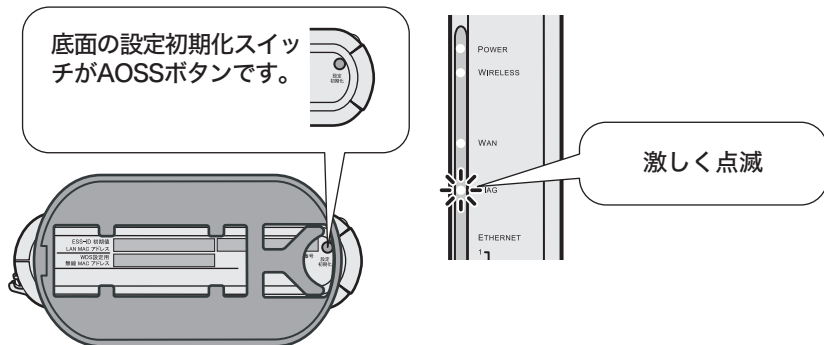
AOSS 機能を使って、本製品（子機）を AirStation（親機）に無線で接続します。
ここでは、WHR2-G54 をお使いの場合の手順を説明します。

メモ AirStation（親機）の近くで接続してください

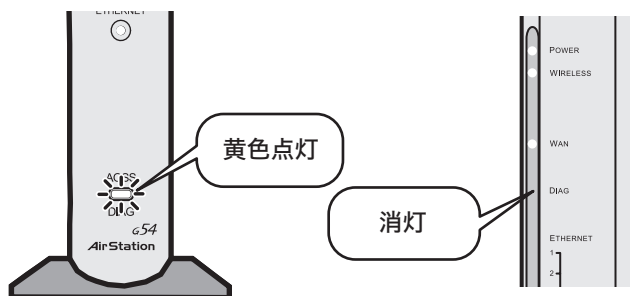
セキュリティを確保するため、本製品（子機）の接続設定時は、電波が一時的に弱くなります。近くに障害物があると、AirStation（親機）に接続できない場合がありますので、接続はAirStation（親機）の近くでおこなってください。

1 イーサネットコンバータの電源を入れた状態で、AOSS/DIAGランプが黄色点滅するまで（約 3 秒間）AOSS ボタンを押します。

1
パソコンを無線ネットワークにつなごう

2 AirStationの電源を入れた状態で、DIAGランプが激しく点滅するまで（約3秒間）AOSS ボタンを押します。 （WHR2-G54 の場合）

メモ AOSS ボタンおよびランプの点灯のしかたは、お使いの AirStation によって異なります。WHR2-G54 以外をお使いの方は、各 AirStation のマニュアルを参照してください。

3 自動的に AirStation が検索されて、 設定がおこなわれます。

4 イーサネットコンバータのAOSSランプが黄色点灯、AirStationのDIAGランプが消灯したら、 接続は完了です。

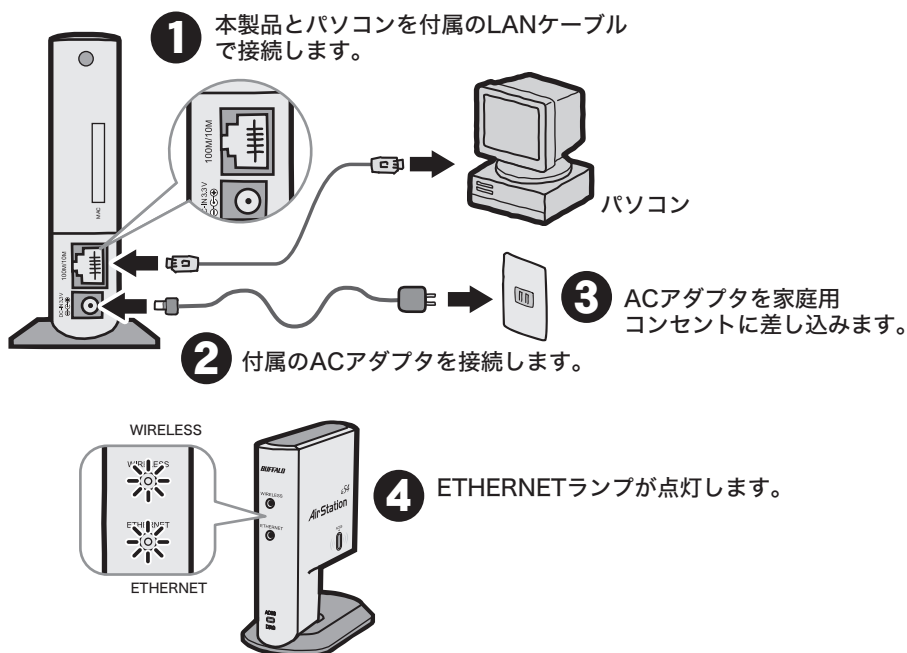
メモ 接続が完了したときのランプの点灯の仕方は、お使いの AirStation によって異なります。WHR2-G54 以外をお使いの方は、各 AirStation のマニュアルを参照してください。

メモ AirStation（親機）に正しく接続されなかった場合、本製品の AOSS/DIAG ランプが激しい黄色点滅に変わります。その場合は、再度手順 1 から実行してください。

これで、 AirStation （親機） と無線で通信できるようになります。

1.3 パソコンからユーティリティを実行して設定する

Step 1 本製品（子機）を接続しよう

本製品のセットアップは、LAN ポートを搭載したパソコンから行ないます。

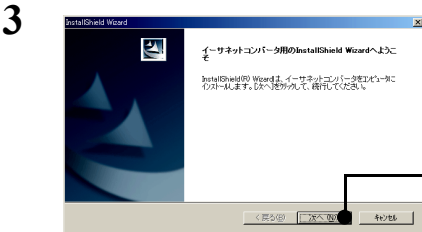
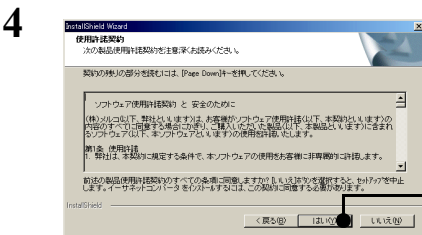
メモ
- 設定を行なうパソコンの有線 LAN ポートが正しく動作していることを確認してください。
- Macintosh をお使いの方は、下記の手順でケーブルを接続した後、「第 3 章　WEB 設定画面」を参照して設定をおこなってください。

※ ETHERNET ランプが点灯しないときは、一度 AC アダプタを抜き差しして、電源を入れなおしてください。

Step 2 本製品（子機）の設定をしよう

本製品（子機）を AirStation（親機）に無線で接続します。

メモ Macintoshをお使いの方は､｢第3章 WEB設定画面｣を参照して設定をおこなってください｡

1 パソコンを起動します。

2 添付の CD-ROM（イーサネットコンバータ CD）をパソコンにセットします。
しばらくすると、インストーラが起動します。

3

［次へ］をクリックします。

4

使用許諾契約を読み、同意できる場合は、［はい］をクリックします。

5

イーサネットコンバータマネージャのインストール先を確認します。

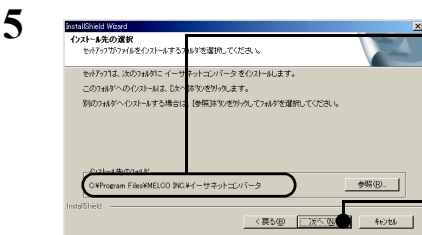
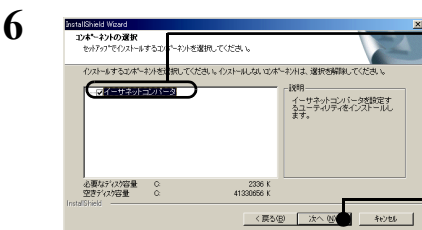
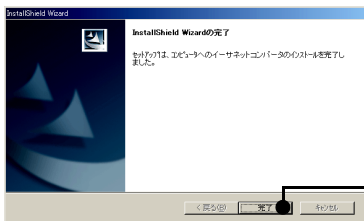
［次へ］をクリックします。

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

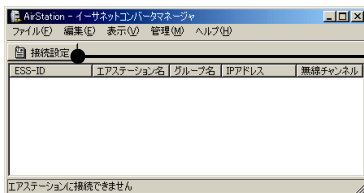
6

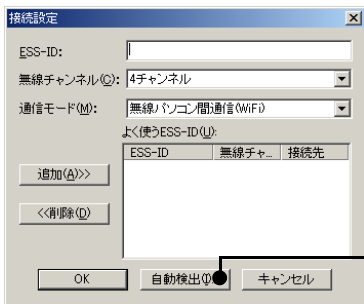
「イーサネットコンバータ」がチェックされていることを確認します。

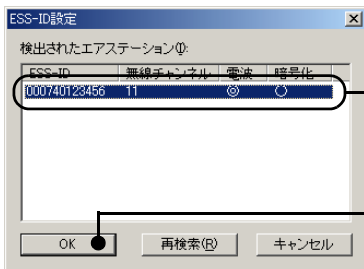
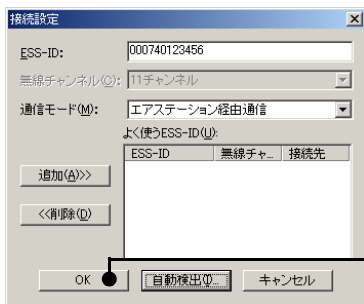
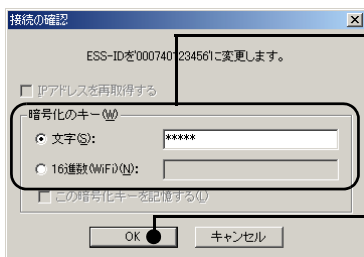
［次へ］をクリックします。

7

［完了］ をクリックします。

8 ［スタート］ － ［プログラム］ － ［MELCO INC］ － ［イーサネットコンバータ］ － ［イーサネットコンバータマネージャ］ を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動します。

9

1 クリック ［接続設定］ をクリックします。

10

1 クリック ［自動検出］ をクリックします。

11

接続する AirStation を選択します。

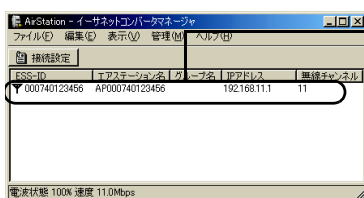
［OK］ をクリックします。

［OK］ をクリックします。

13

AirStation の暗号化キー（WEP）を設定します。

［OK］ をクリックします。

AirStation の検索が始まります。

AirStation 名が黒色で表示され、 アンテナマークが表示されます。

15 イーサネットコンバータマネージャを閉じます。

これで、 AirStation （親機） と無線で通信できるようになります。

第2章
ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタを無線でつなごう

ネットワーク接続可能なゲーム機、 デジタル家電やプリンタなどを無線でつなぎます。

2.1 設定のしかた

2.2 ボタンを押して自動的に設定する（AOSS）

2.3 有線（ケーブル）で接続するパソコンから設定する

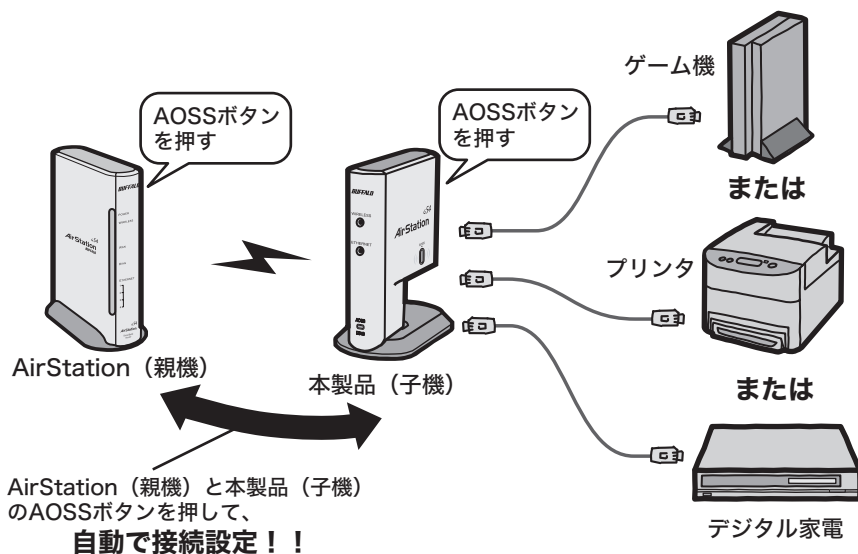
2.4 無線パソコンから設定する

2.1 設定のしかた

本製品のセットアップは、下記の３つの方法があります。環境に合ったセットアップ方法を選んで、セットアップをおこなってください。

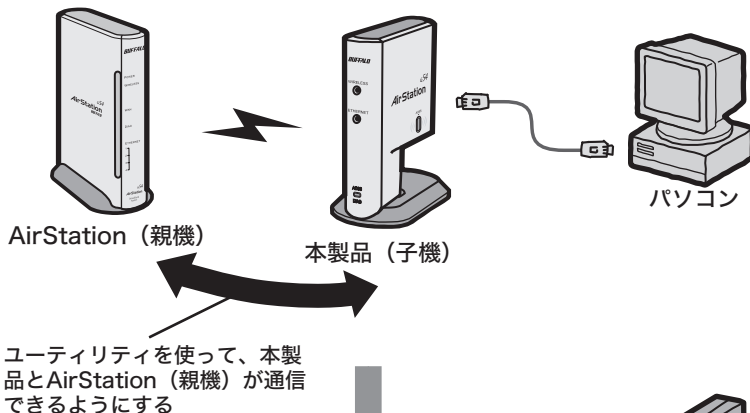
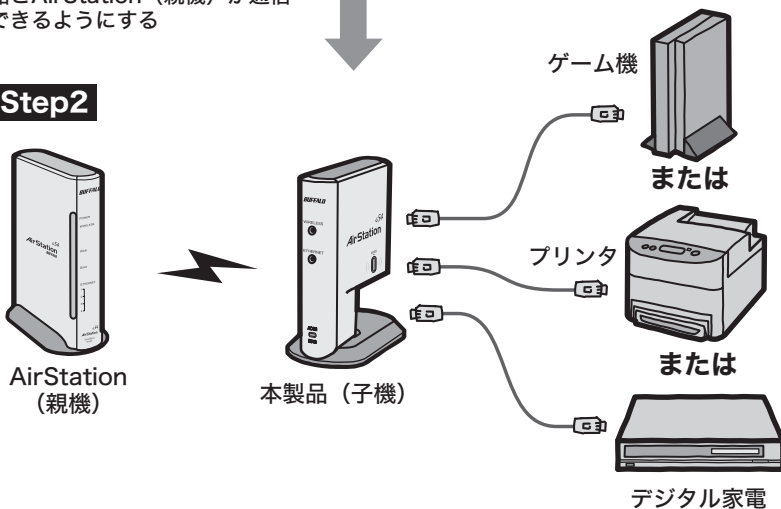
- ボタンを押して自動的に設定をおこなう （AOSS）
- 有線 （ケーブル） で接続するパソコンから設定する
- 無線パソコンから設定する

■ ボタンを押して自動的に設定をおこなう場合 （AOSS）

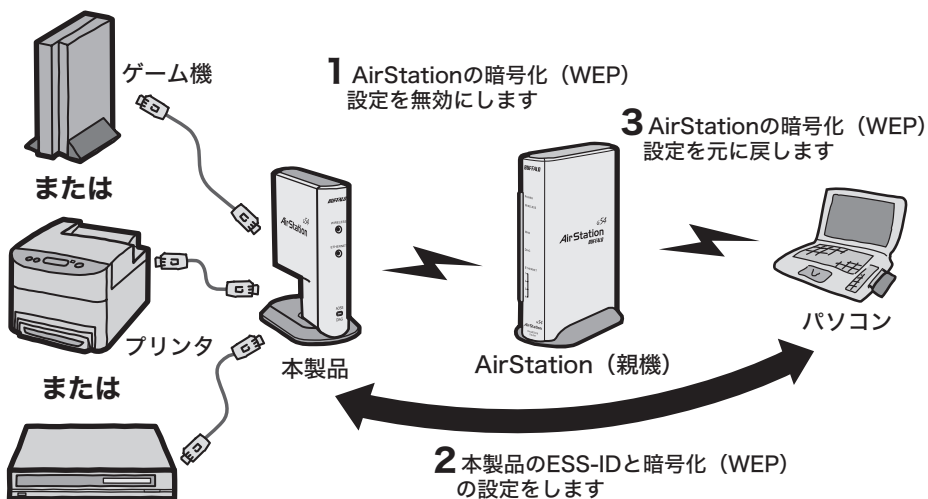
※ AOSS に対応した AirStation （親機） をお使いの場合は、 この手順で設定してください。

⇒ 「ボタンを押して自動的に設定する （AOSS）」 （P23） を参照して設定をおこなってください。

■ 有線（ケーブル）で接続するパソコンから設定する場合

※ 有線 LAN ポートを搭載したパソコンをお使いの方は、この手順で設定することをお勧めします。

本製品（子機）を設定した後、ゲーム機／プリンタ／デジタル家電に接続します。

⇒「有線（ケーブル）で接続するパソコンから設定する」（P26）を参照して設定をおこなってください。

■　無線パソコンから設定する場合

※ 無線パソコンから設定を行なう場合は、一度 AirStation の WEP 設定を使用しない設定にする必要があります。（Macintosh をお使いの方は、この手順では設定できません。）

⇒ 「無線パソコンから設定する」（P31）を参照して設定をおこなってください。

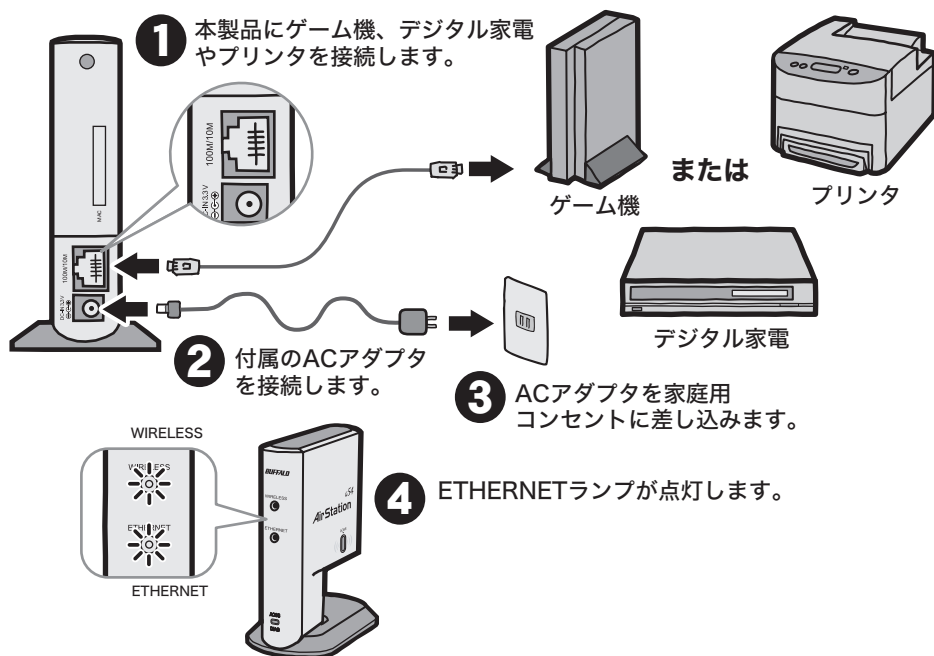
2.2 ボタンを押して自動的に設定する（AOSS）

パソコンを AOSS 対応の AirStation （親機） に、 無線で接続する手順を説明します。

メモ　AOSS に対応していない AirStation（親機）をお使いの場合は、この手順で接続することはできません。「有線（ケーブル）で接続するパソコンから設定する」（P26）または「無線パソコンから設定する」（P31）を参照してください。

Step 1 本製品 （子機） を接続しよう

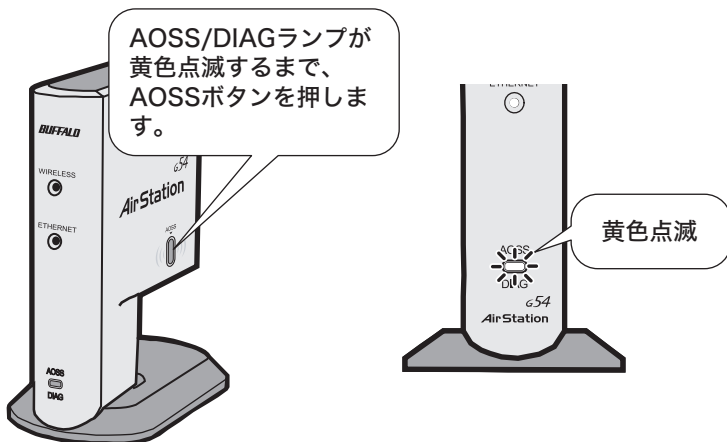
本製品 （子機） を付属の LAN ケーブルでゲーム機／プリンタ／デジタル家電に接続します。

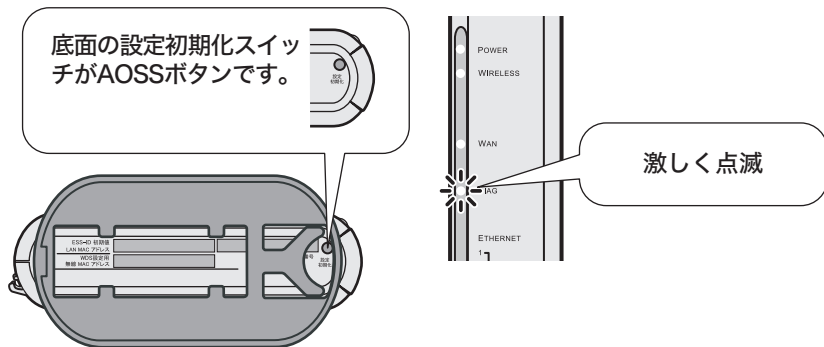
メモ　パソコンの有線 LAN ポートが正しく動作していることを確認してください。

※ ETHERNET ランプが点灯しないときは、 一度 AC アダプタを抜き差しして、 電源を入れなおしてください。

Step 2 本製品（子機）の設定をしよう

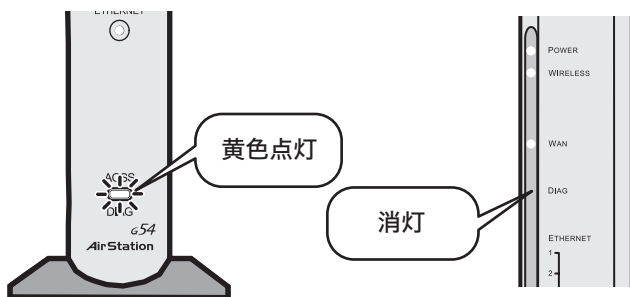
AOSS機能を使って、本製品（子機）をAirStation（親機）に無線で接続します。
ここでは、WHR2-G54をお使いの場合の手順を説明します。

メモ AirStation（親機）の近くで接続してください
セキュリティを確保するため、本製品（子機）の接続設定時は、電波が一時的に弱くなります。近くに障害物があると、AirStation（親機）に接続できない場合がありますので、接続はAirStation（親機）の近くでおこなってください。

1 イーサネットコンバータの電源を入れた状態で、AOSS/DIAGランプが黄色点滅するまで（約3秒間）AOSSボタンを押します。

2 AirStationの電源を入れた状態で、DIAGランプが激しく点滅するまで（約3秒間）AOSS ボタンを押します。

メモ AOSS ボタンおよびランプの点灯のしかたは、お使いの AirStation によって異なります。WHR2-G54 以外をお使いの方は、各 AirStation のマニュアルを参照してください。

3 自動的に AirStation が検索されて、 設定がおこなわれます。

4 イーサネットコンバータのAOSS/DIAGランプが黄色点灯、AirStationのDIAGランプが消灯したら、 AirStation （親機） との接続は完了です。

メモ 接続が完了したときのランプの点灯の仕方は、お使いの AirStation によって異なります。WHR2-G54 以外をお使いの方は、各 AirStation のマニュアルを参照してください。

メモ AirStation（親機）に正しく接続されなかった場合、本製品の AOSS/DIAG ランプが激しい黄色点滅に変わります。その場合は、再度手順 1 から実行してください。

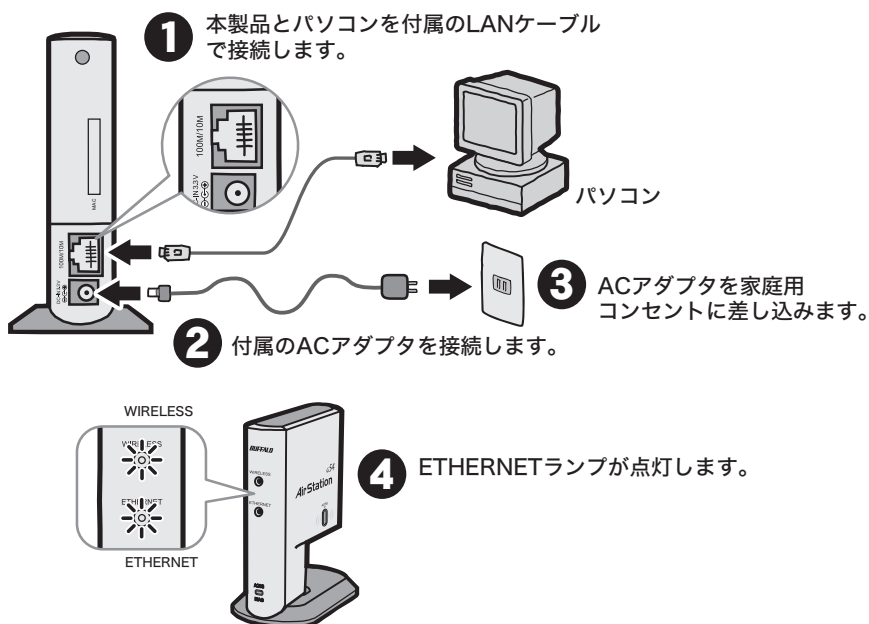
これで、 設定は完了です。

2.3 有線（ケーブル）で接続するパソコンから設定する

Step 1 本製品（子機）の設定をしよう

本製品のセットアップは、LAN ポートを搭載したパソコンから行ないます。

メモ
- 設定を行なうパソコンの有線 LAN ポートが正しく動作していることを確認してください。
- Macintosh をお使いの方は、下記の手順 1 でケーブルを接続した後、「第 3 章 WEB 設定画面」を参照して設定をおこなってください。

1 本製品をパソコンの LAN ポートへ接続します。

※ ETHERNET ランプが点灯しないときは、一度 AC アダプタを抜き差しして、電源を入れなおしてください。

2 パソコンを起動します。

3 添付の CD-ROM（イーサネットコンバータ CD）をパソコンにセットします。しばらくすると、インストーラが起動します。

4

［次へ］ をクリックします。

5

使用許諾契約を読み、同意できる場合は、［はい］をクリックします。

6

イーサネットコンバータマネージャのインストール先を確認します。

［次へ］ をクリックします。

インストール先を変更する場合は、［参照］ をクリックして変更してください。

7

「イーサネットコンバータ」 がチェックされていることを確認します。

［次へ］ をクリックします。

8

［完了］ をクリックします。

9 ［スタート］ － ［プログラム］ － ［MELCO INC］ － ［イーサネットコンバータ］ － ［イーサネットコンバータマネージャ］ を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動します。

10

［接続設定］ をクリックします。

11

［自動検出］ をクリックします。

12

接続する AirStation を選択します。

［OK］ をクリックします。

13

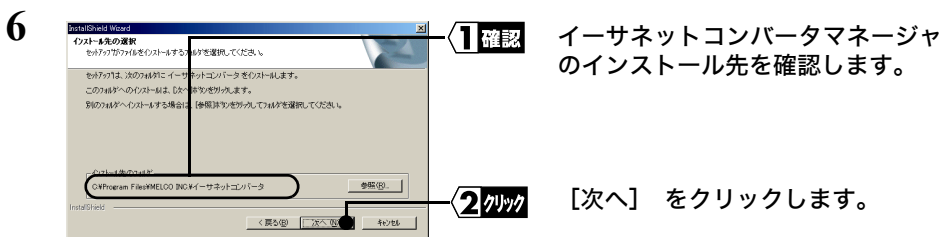
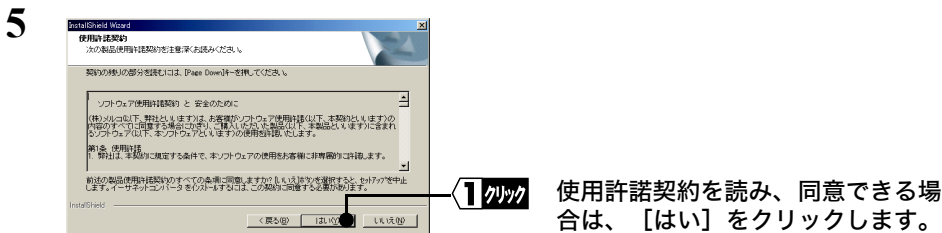
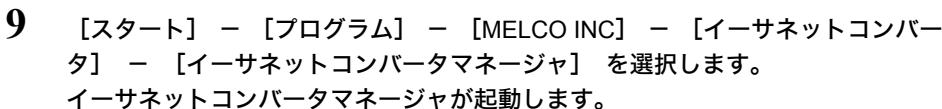
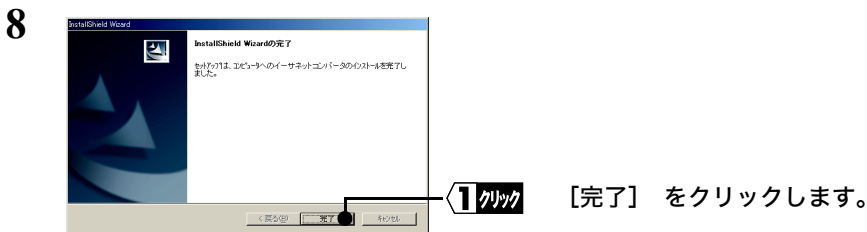
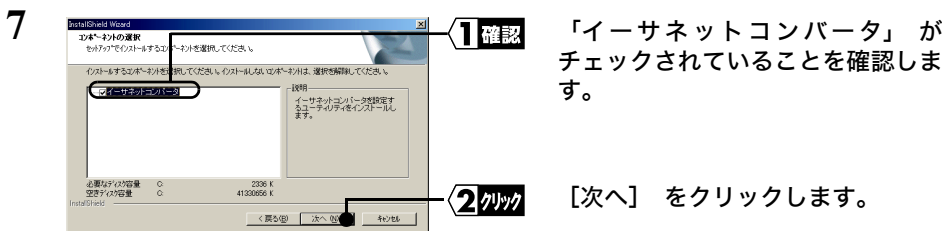
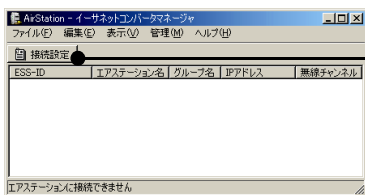
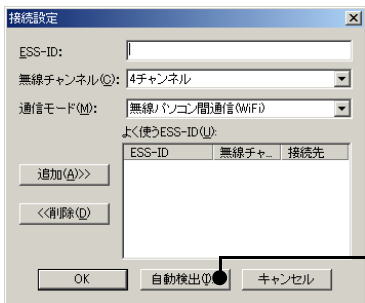
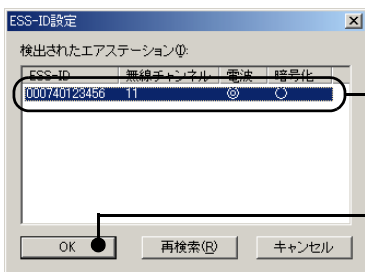
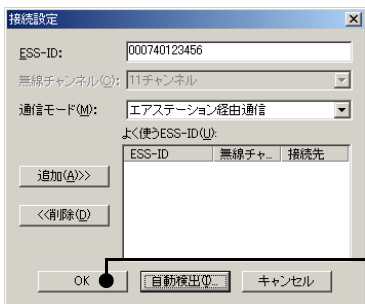
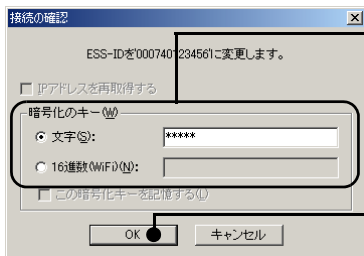
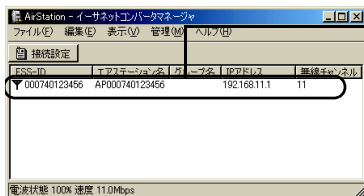
［OK］ をクリックします。

14

AirStation の暗号化キー（WEP）を設定します。

［OK］をクリックします。

AirStation の検索が始まります。

15

AirStation 名が黒色で表示され、アンテナマークが表示されます。

16 イーサネットコンバータマネージャを閉じます。

これで、AirStation（親機）と無線で通信できるようになります。

Step 2 本製品（子機）を接続しよう

本製品を有線 LAN ポート搭載ゲーム機、デジタル家電やプリンタに接続して、正しく通信できるか確認します。

1

❶ 本製品にゲーム機、デジタル家電やプリンタを接続します。

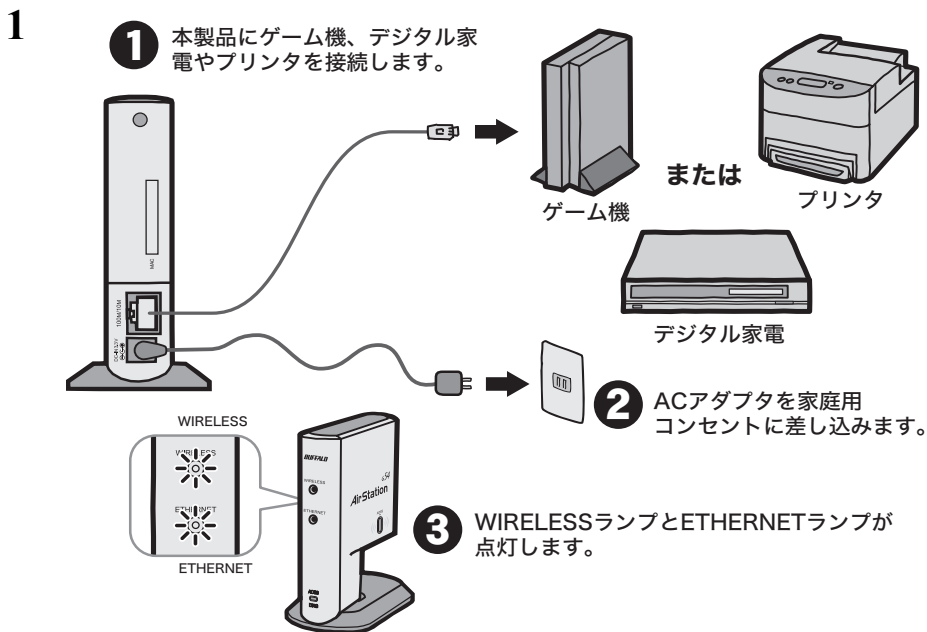
ゲーム機　または　プリンタ

デジタル家電

❷ ACアダプタを家庭用コンセントに差し込みます。

WIRELESS

ETHERNET

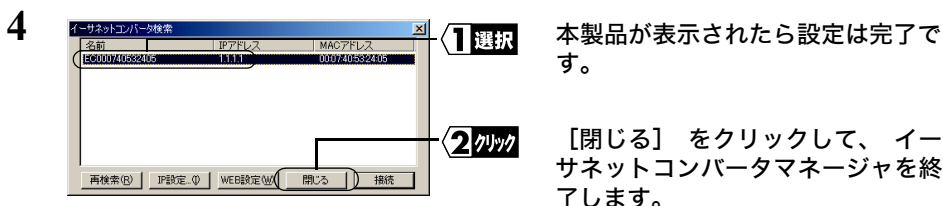
❸ WIRELESSランプとETHERNETランプが点灯します。

※ ETHERNET ランプが点灯しないときは、一度 AC アダプタを抜き差しして、電源を入れなおしてください。

2 パソコンを AirStation（親機）に接続します。

3 AirStation に接続された Windows パソコンから、［スタート］－［プログラム］－［MELCO INC］－［イーサネットコンバータ］－［イーサネットコンバータマネージャ］を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動して、自動的に検索が始まります。

4

本製品が表示されたら設定は完了です。

［閉じる］をクリックして、イーサネットコンバータマネージャを終了します。

これで、設定は完了です。

2.4 無線パソコンから設定する

Step 1 AirStation の暗号化設定を無効にしよう

本製品は、 出荷時設定で近くの AirStation と自動的に接続する設定になっています。ただし、 AirStation に暗号化設定 （WEP） の設定がされていると通信できませんので、 暗号化 （WEP） 設定を 「使用しない」 に設定してください。

1 **AirStation のマニュアルを参照して、 暗号化 （WEP） 設定を 「使用しない」 に設定してください。**

WHR2-G54/WBR-G54/B11 をお使いの場合の設定例

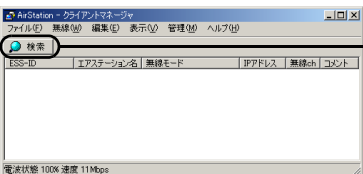
※ **下記の手順は、 AirStation のファームウェアのバージョンによって異なります。**

① AirStation に添付されている AirNavigator CD をパソコンにセットして、AirNavigator を起動します。
②［エアステーション設定］を選択して、［実行］をクリックします。
③お使いのネットワークアダプタを選択して、［次へ］をクリックします。
④ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザ名」欄に「root」を入力、「パスワード」欄を空欄にして、［OK］をクリックします。
⑤設定画面が表示されますので、「機能設定」タブをクリックします。
⑥「無線の信号を暗号化する (WEP/TKIP/AES)」を選択します。
⑦「暗号化しない」を選択して、［進む］をクリックします。
⑧「AirStation の暗号化の設定は完了しました」と表示されたら、ブラウザを閉じます。

WHR-G54 をお使いの場合の設定例

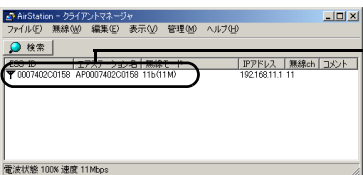
※ **下記の手順は、 AirStation のファームウェアのバージョンによって異なります。**

① AirStation に添付されている AirNavigator CD をパソコンにセットして、AirNavigator を起動します。
②［エアステーション設定］を選択して、［実行］をクリックします。
③お使いのネットワークアダプタを選択して、［次へ］をクリックします。
④ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザ名」欄に「root」を入力、「パスワード」欄を空欄にして、［OK］をクリックします。
⑤設定画面が表示されますので、左に表示されている「LAN 設定」をクリックします。
⑥「WEP」欄の「WEP 使用する」のチェックボックスを外して、画面下の［設定］をクリックします。
⑦「下記の設定変更を行います。」と表示されたら、［設定］をクリックします。
⑧「設定が完了しました」と表示されたら、ブラウザを閉じます。

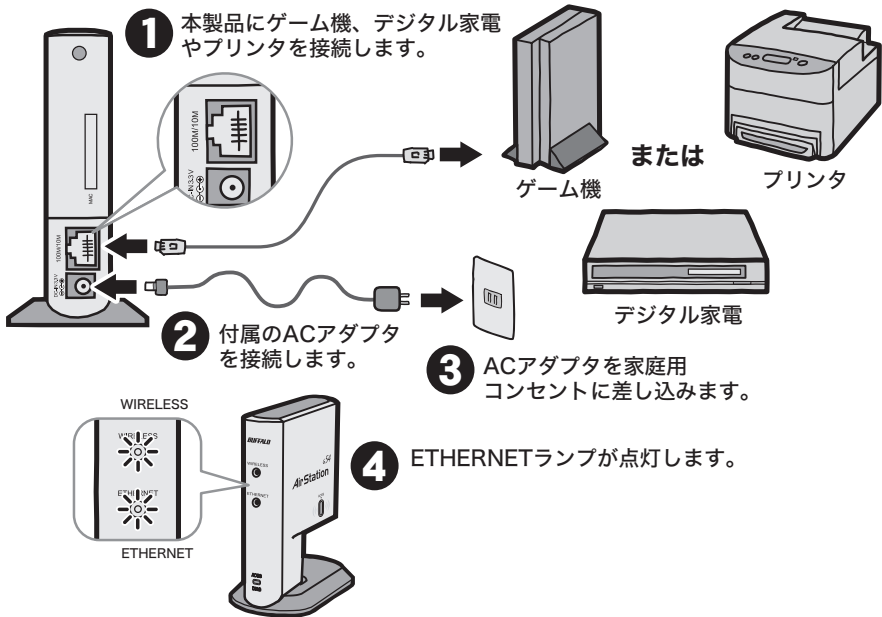
2 AirStation の暗号化（WEP）設定を変更したため、設定するパソコンと AirStation が通信できない状態となります。
AirStation のマニュアルを参照して、 AirStation に接続しなおしてください。

AirStation への再接続手順の例

※ 下記の手順は、 クライアントマネージャのバージョンによって異なります。

1 AirStation のマニュアルを参照して、クライアントマネージャを起動します。

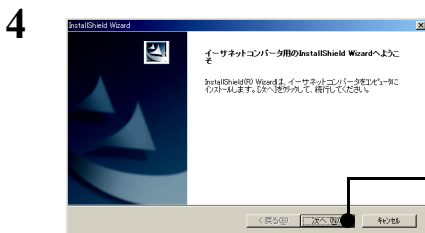
2

確認が終わったら、 本製品 （子機） の設置をおこないます。

Step 2 本製品（子機）を設定しよう

1 本製品を有線 LAN ポート搭載のゲーム機、デジタル家電やプリンタに接続します。

※ ETHERNET ランプが点灯しないときは、一度 AC アダプタを抜き差しして、電源を入れなおしてください。

2 パソコンを起動します。

3 添付の CD-ROM（イーサネットコンバータ CD）をパソコンにセットします。しばらくすると、インストーラが起動します。

4

［次へ］をクリックします。

5

1 クリック　使用許諾契約を読み、同意できる場合は、［はい］をクリックします。

6

1 確認　イーサネットコンバータマネージャのインストール先を確認します。

2 クリック　［次へ］ をクリックします。

インストール先を変更する場合は、［参照］ をクリックして変更してください。

7

1 確認　「イーサネットコンバータ」 がチェックされていることを確認します。

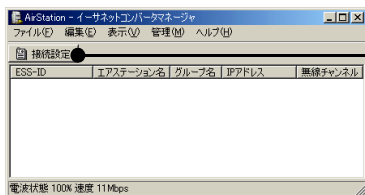
2 クリック　［次へ］ をクリックします。

8

1 クリック　［完了］ をクリックします。

9

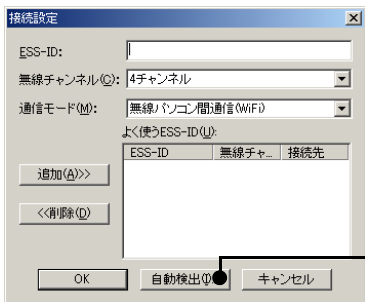
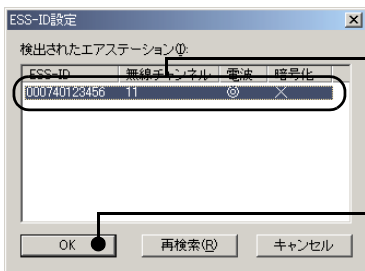
［スタート］ － ［プログラム］ － ［MELCO INC］ － ［イーサネットコンバータ］ － ［イーサネットコンバータマネージャ］ を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動します。

10

［接続設定］ をクリックします。

「イーサネットコンバータが見つかりませんでした」 と表示されたときは、「イーサネットコンバータマネージャで本製品が検索できません」 を参照してください。

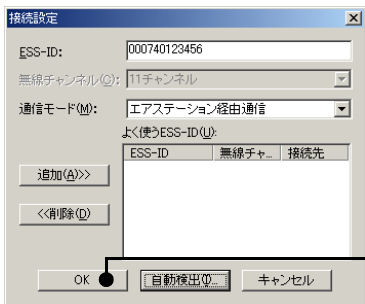
11

［自動検出］ をクリックします。

12

接続する AirStation を選択します。

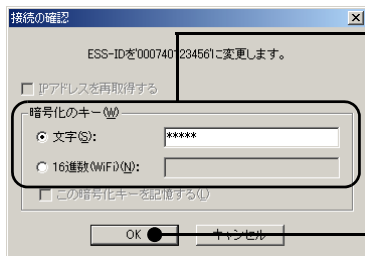
メモ 「暗号化」欄が「○」の場合は、AirStation は暗号化されています。

［OK］ をクリックします。

13

［OK］ をクリックします。

2

ゲーム機／デジタル家電／プリンタを無線でつなごう

14

AirStation に設定する暗号化キー（WEP）を設定します。
※ここで入力した暗号化（WEP）キーは、本製品（子機）に設定されます。

［OK］をクリックします。

メモ　暗号化されていない場合は、空欄のまま［OK］をクリックします。

AirStation の検索が始まります。

15

この段階では、本製品と AirStation の暗号（WEP）設定が異なるため、左のエラーメッセージが表示されますが、［OK］をクリックしてください。

16 検索が終了したら、イーサネットコンバータマネージャを閉じます。

Step 3 AirStation の暗号化設定を元に戻そう

AirStation の暗号化（WEP）キーを元に戻して、本製品と正しく通信できるか確認します。

1 AirStationのマニュアルを参照して、暗号化（WEP）設定を元に戻してください。

WHR2-G54/WBR-G54/B11 をお使いの場合

※ 下記の手順は、AirStation のファームウェアのバージョンによって異なります。

① AirStation に添付されている AirNavigator CD をパソコンにセットして、AirNavigator を起動します。
②［エアステーション設定］を選択して、［実行］をクリックします。
③お使いのネットワークアダプタを選択して、［次へ］をクリックします。
④ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザ名」欄に「root」を入力、「パスワード」欄を空欄にして、［OK］をクリックします。
⑤設定画面が表示されますので、「機能設定」タブをクリックします。
⑥「無線の信号を暗号化する (WEP/TKIP/AES)」を選択します。
⑦「WEP 暗号化」を選択し、「WEP 暗号化」欄の「1」を選択して、P36 の手順 4 で設定した暗号化（WEP）キーを入力します。
⑧入力が終わったら、［設定］をクリックします。
⑨「設定が完了しました」と表示されたら、ブラウザを閉じます。

WHR-G54 をお使いの場合

※ 下記の手順は、 AirStation のファームウェアのバージョンによって異なります。

① AirStation に添付されている AirNavigator CD をパソコンにセットして、AirNavigator を起動します。

② ［エアステーション設定］を選択して、［実行］をクリックします。

③お使いのネットワークアダプタを選択して、［次へ］をクリックします。

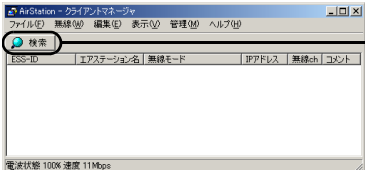
④ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザ名」欄に「root」を入力、「パスワード」欄を空欄にして、［OK］をクリックします。

⑤設定画面が表示されますので、左に表示されている「LAN 設定」をクリックします。

⑥「WEP」欄の「WEP 使用する」にチェックをつけてから、「1」を選択し、P36 の手順 4 で設定した暗号化（WEP）キーを入力します。

⑦入力が終わったら、画面下の［設定］をクリックします。

⑧「下記の設定変更を行います。」と表示されたら、［設定］をクリックします。

⑨「設定が完了しました」と表示されたら、ブラウザを閉じます。

2 AirStation のマニュアルを参照して、 AirStation に接続しなおしてください。

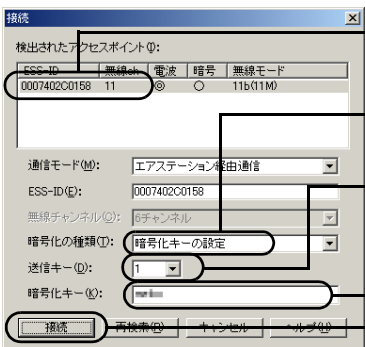
AirStation への再接続手順の例

※ 下記の手順は、 クライアントマネージャのバージョンによって異なります。

1 AirStation のマニュアルを参照して、クライアントマネージャを起動します。

2

「検索」 をクリックします。

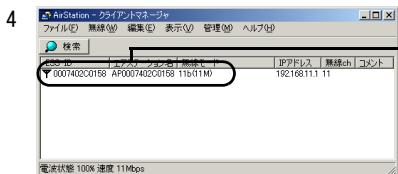
3

AirStation の ESS-ID （SSID） を選択します。

「暗号化キーの設定」 を選択します。

「1」 を選択します。

P36 の手順4で設定した暗号化（WEP） キーを入力します。

「OK」 をクリックします。

4

AirStation が黒で表示されたことを確認します。

Step 4 本製品 （子機） と正しく通信できるか確認しよう

イーサネットコンバータマネージャを起動して、 本製品 （子機） と正しく通信できるか確認します。

1 ［スタート］ － ［プログラム］ － ［MELCO INC］ － ［イーサネットコンバータ］ － ［イーサネットコンバータマネージャ］ を選択します。
イーサネットコンバータマネージャが起動して、 自動的に検索が始まります。

2

1 選択

本製品が表示されたら設定は完了です。

2 クリック

［閉じる］ をクリックして、 イーサネットコンバータマネージャを終了します。

これで、 設定は完了です。

第 3 章

WEB 設定画面

本製品の WEB 設定画面での設定方法を説明します。

3.1 本製品の WEB 設定画面の使い方

3.2 WEB 設定画面から設定する

3.1 本製品の WEB 設定画面の使い方

■ WEB 設定画面とは

本製品の WEB 設定画面からでも、AirStation との接続設定、IP アドレス設定や本製品の状態表示を確認することができます。

メモ　あらかじめ WEB ブラウザがインストールされていることが必要です。 各ブラウザの詳細については、 各ブラウザのメーカにお問合せください。

■ WEB 設定画面を表示する

設定画面の表示手順は、 お使いのパソコンによって異なります。 該当するパソコン（OS） の項目を参照してください。

《Windows XP/2000/Me/98/95 の場合》

1 本製品とパソコンを付属の LAN ケーブルで接続してください。
（LAN ケーブルでパソコンと本製品を接続して設定する場合のみ）

2 「Step 2　本製品 （子機） の設定をしよう」 （P16） を参照して、 イーサネットコンバータマネージャをインストールします。

3 ［スタート］ － ［プログラム］ － ［MELCO INC］ － ［イーサネットコンバータ］ － ［イーサネットコンバータマネージャ］ を選択します。
自動的に検索が始まります。

メモ　本製品をパソコンの LAN ポートに直接接続している場合は、 以下の手順で本製品の検索をおこなってください。

［編集］ － ［イーサネットコンバータ検索］ を選択します。

4

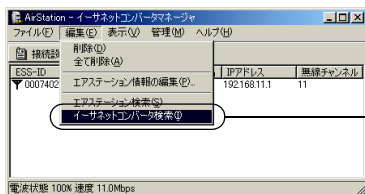
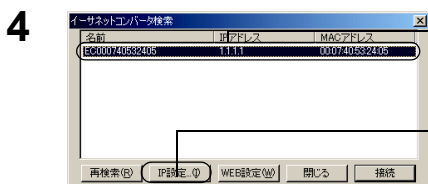
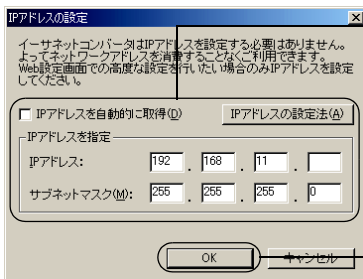
検出された本製品のリストが表示されますので、 設定したい本製品を選択します。

［IP 設定］ をクリックします。

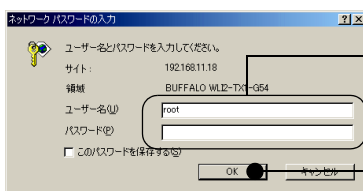
5

本製品のIPアドレスを入力します。

［OK］ をクリックします。

6

IPアドレスを設定した本製品を選択します。

［WEB 設定］ をクリックします。

7

ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、
「ユーザー名」欄→root（小文字）
「パスワード」欄→空欄
として、［OK］をクリックします。

8

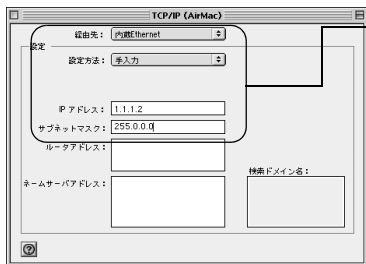
WEBブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、「第4章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P62）を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

《Mac OS 8.6 〜 9.2 の場合》

メモ　Mac OS 9.0/9.1 を使用している場合は、 Open Transport を最新バージョンにアップデートしてください。 最新バージョンはアップルコンピュータ社ホームページ （http://www.apple.co.jp/） からダウンロードできます。 Open Transport についての詳細は、アップルコンピュータ社にお問い合わせください。

1　本製品とパソコンを付属の LAN ケーブルで接続してください。

2　［アップルメニュー］ － ［コントロールパネル］ － ［TCP/IP］ を選択し、 次の通りに設定します。

1 入力

「経由先」→「内蔵 Ethernet」
「設定方法」→「手入力」
「IP アドレス」→「1.1.1.2」
「サブネットマスク」→「255.255.255.0」
※ 上記は、 本製品が出荷時設定の場合の設定値です。
（本製品のIPアドレスの出荷時設定は 「1.1.1.1」）

3　Mac OS を再起動します。

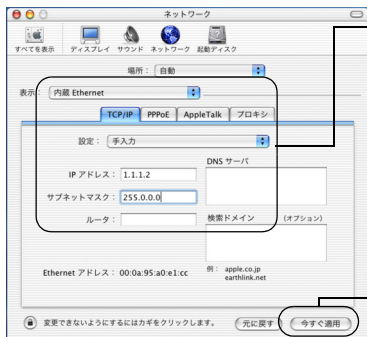
4　WEB ブラウザを起動します。

5　アドレス欄に 「http://1.1.1.1」 （出荷時設定の場合） と入力し、 ［Enter］ キーを押します。

6　設定画面が表示されます。
設定画面が表示されないときは、「第 4 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P62）を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

《Mac OS X の場合》

1 本製品とパソコンを付属の LAN ケーブルで接続してください。

2 ［アップルメニュー］ − ［システム環境設定］ − ［ネットワーク］ を選択し、TCP/IP タブで次の通りに設定します。

「表示」→「内蔵 Ethernet」
「設定方法」→「手入力」
「IP アドレス」→「1.1.1.2」
「サブネットマスク」→「255.255.255.0」
※ 上記は、本製品が出荷時設定の場合の設定値です。
（本製品の IP アドレスの出荷時設定は 「1.1.1.1」）

今すぐ適用をクリックします。

3 Mac OS を再起動します。

4 WEB ブラウザを起動します。

5 アドレス欄に 「http://1.1.1.1」 （出荷時設定の場合） と入力し、 ［Enter］ キーを押します。

6 設定画面が表示されます。
設定画面が表示されないときは、「第 4 章 困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P62）を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

■ 設定画面の説明をヘルプで見る

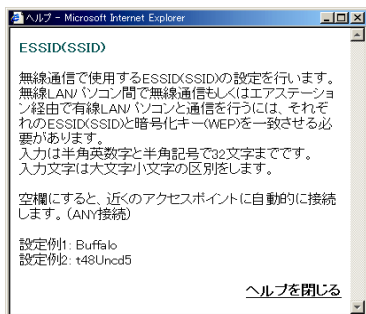
本製品の設定画面について詳しく知るには、ヘルプを参照してください。
ヘルプは、以下の手順で表示できます。

1 「WEB 設定画面を表示する」（P40）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2

設定項目のとなりにある「?」マークをクリックします。

3

ヘルプ画面が表示されます。

3.2 WEB 設定画面から設定する

本製品は WEB サーバを搭載しています。本製品の IP アドレスが分かっている場合は、WEB ブラウザを使用して、本製品の設定を確認したり変更したりすることができます。

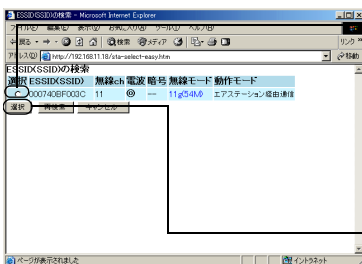
メモ　本製品の IP アドレスは、Windows 用付属ソフト「イーサネットコンバータマネージャ」を使って確認することができます。 確認方法は、 「本製品の IP アドレスがわからなくなった」 （P66） を参照してください。

■ AirStation に接続する

WEB 設定画面から AirStation に接続するには、以下の手順をおこないます。

1 「WEB 設定画面を表示する」 （P40） を参照して、 AirStation の設定画面を表示します。

2 1 クリック　［検索］をクリックします。

3

1 選択　検索された AirStation を選択します。

2 クリック　［選択］をクリックします。

4

AirStation に暗号化キー（WEP）が設定してある場合は、「暗号化する」を選択して、暗号化キー（WEP）を入力します。
暗号化キーが設定していない場合は、「暗号化しない」を選択します。

5

1 クリック

［設定・接続］をクリックします。

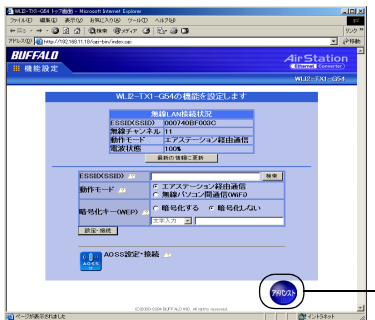
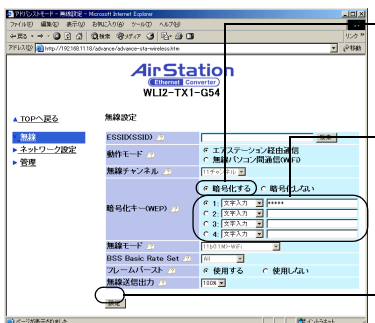
6 「完了しました」と表示されますので、「戻る」をクリックします。

7 トップ画面に戻りますので、「無線 LAN 接続情報」欄で接続状態を確認してください。

■ 暗号化キー（WEP）を設定する

本製品に暗号化キー（WEP）を設定するには、以下の手順をおこないます。

1 「WEB 設定画面を表示する」（P40）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2 1 クリック ［アドバンスト］をクリックします。

3 1 選択 ［暗号化する］を選択します。

2 入力 AirStation の WEP 設定に合わせて、WEP を設定します。

3 クリック ［設定］をクリックします。

メモ 暗号（WEP）キーが一つしか設定できない無線 LAN 機器と通信する場合は、1 番の暗号キーのみに入力をしてください。

4 「完了しました。」と表示されたら、設定完了です。

■ 設定画面のアクセス制限を設定する

設定画面を無線側から表示できなくしたり、 有線側から表示できなくすることができます。 （イーサネットコンバータマネージャからも検索ができなくなります。）

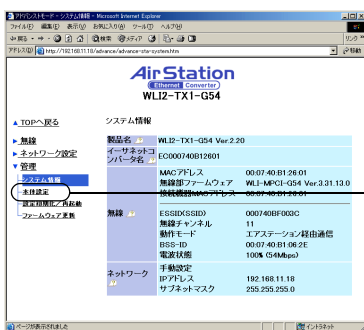
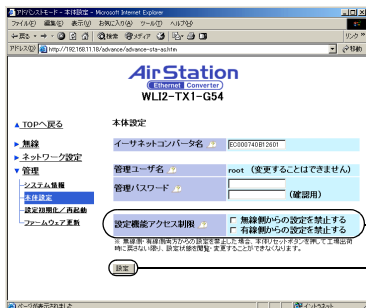
設定画面へのアクセス制限を設定するときは、 以下の手順を行なってください。

1 「WEB 設定画面を表示する」 （P40） を参照して、 AirStation の設定画面を表示します。

2 ［アドバンスト］をクリックします。

3 ［管理］をクリックします。

4 ［本体設定］をクリックします。

5

❶ 制限する項目を選択します。

❷ ［設定］をクリックします。

6 「完了しました。」と表示されたら、設定完了です。

■ AirStation との接続状態を確認する

本製品を有線パソコンに接続して、 無線パソコンとして使用する場合は、 以下の手順で、 AirStation との接続確認をすることができます。

1 「WEB 設定画面を表示する」(P40) を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

「無線 LAN 接続情報」欄で接続状態を確認してください。

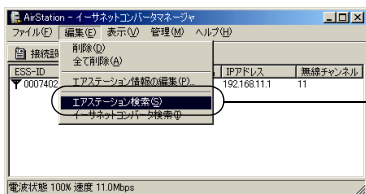
メモ Windows パソコンをお使いの場合は、 イーサネットコンバータマネージャからでも接続状態を確認することができます。

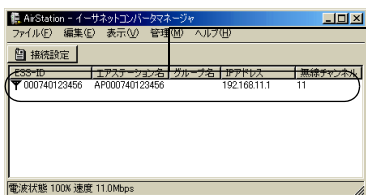
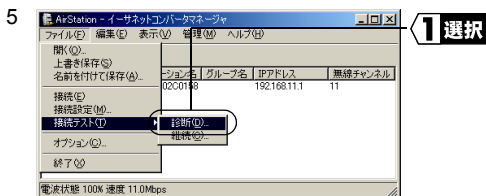
1 「Step 2　本製品 （子機） の設定をしよう」 （P16） を参照して、 イーサネットコンバータマネージャをインストールします。

2 ［スタート］ － ［プログラム］ － ［MELCO　INC］ － ［イーサネットコンバータ］ － ［イーサネットコンバータマネージャ］ を選択します。

3

［編集］ － ［エアステーション検索］ を選択します。

4

AirStation が黒で表示されることを確認します。

5

「ファイル」－「接続テスト」－「診断」を選択します。

6 接続テストが開始されますので、送信パケット数が 100 になるまでお待ちください。

7

接続テストの結果が表示されます。

接続状態		電波状態	
	最適		最適
	良好		良好
	悪い		問題あり
	最悪		悪い
		圏外	通信不可

接続状態と電波状態の結果を総合的に判断して、 診断結果が表示されます。

良好 ： 総合的に問題ありません。　　不適合 ： 不安定な状態であることを示します。

診断結果が不適合の場合は以下の対策を試みてください。

1 無線 LAN パソコンを AirStation に近づけます。 （ただし、 30cm 以内に近づけないでください）
2 AirStation の位置を変更する。
3 AirStation と無線 LAN パソコン間の見通しをよくします。
4 AirStation、 無線 LAN パソコンの近くに電子レンジ等の電波発生源がないことを確認します。

■ 設定画面のパスワードを設定する

本製品の設定画面のパスワードを設定するには、以下の手順をおこないます。パスワードを設定すると、設定画面を表示する前にパスワードの入力画面が表示されます。

1 「WEB 設定画面を表示する」（P40）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

[アドバンスト］をクリックします。

3

[管理］をクリックします。

4

[本体設定］をクリックします。

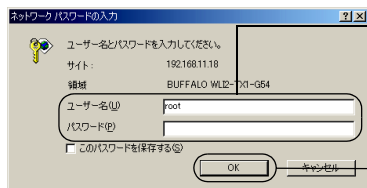
5

設定するパスワードを入力します。

［設定］をクリックします。

6 「完了しました。」と表示されたら、設定完了です。

メモ パスワードとして入力できるのは、半角英数字と "_"（アンダーバー）の組み合わせで、最大 8 文字までです。大文字小文字は別の文字として認識されます。
パスワードを忘れてしまった場合は、本製品の設定初期化スイッチを押すと、パスワードなしの状態（出荷時設定）に戻すことができます。ただし、パスワード以外の設定もすべて出荷時設定に戻ります。
設定初期化スイッチについては、「各部の名称とはたらき」（P6）を参照してください。

メモ パスワードを設定したときは、設定画面を表示するときに表示されるネットワークパスワードの入力画面で以下のように入力します。

ユーザー名　：「root」を入力します。
パスワード　：設定したパスワードを入力します。

［OK］をクリックします。

3
WEB設定画面

■ 本製品の IP アドレスを変更する

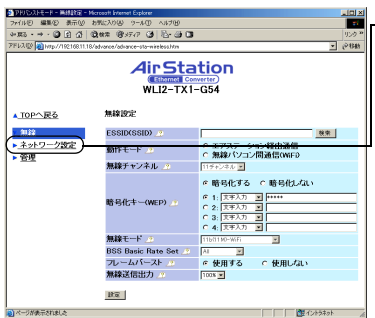
本製品の IP アドレスの設定を変更するときは、 以下の手順でおこなってください。

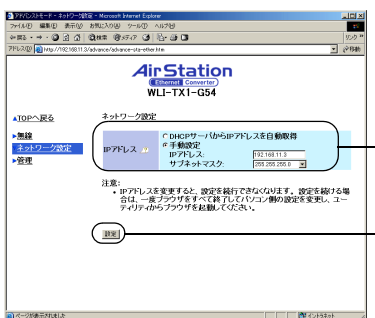
1 「WEB 設定画面を表示する」 （P40） を参照して、 AirStation の設定画面を表示します。

2

1 クリック ［アドバンスト］をクリックします。

3

1 クリック ［ネットワーク設定］をクリックします。

4

1 入力 本製品の IP アドレスを入力します。

2 クリック ［設定］をクリックします。

5 「完了しました。」と表示されたら、設定完了です。

メモ Windows パソコンをお使いの場合は、 イーサネットコンバータマネージャからでも本製品の IP アドレスを変更することができます。

1 「本製品 （子機） の設定をしよう」 （P16） を参照して、 パソコンにイーサネットコンバータマネージャをインストールします。

2 ［スタート］ － ［プログラム］ － ［MELCO INC］ － ［イーサネットコンバータ］ － ［イーサネットコンバータマネージャ］ を選択します。
自動的に検索が始まります。

メモ 本製品をパソコンの LAN ポートに直接接続している場合は、以下の手順で本製品の検索をおこなってください。

［編集］－［イーサネットコンバータ検索］を選択します。

3

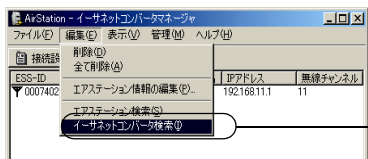
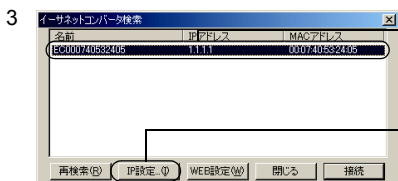
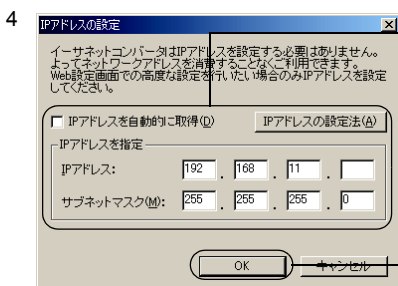
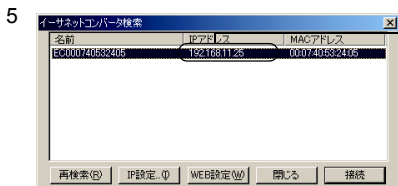
検出された本製品のリストが表示されますので、設定したい本製品を選択します。

［IP 設定］をクリックします。

4

本製品の IP アドレスを入力します。

［OK］をクリックします。

5

IP アドレスが設定されたことを確認してください。

6 ［閉じる］ をクリックして、 イーサネットコンバータマネージャを終了してください。

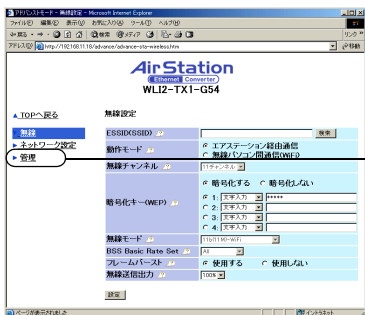
■ 本製品の設定を出荷時設定に戻す

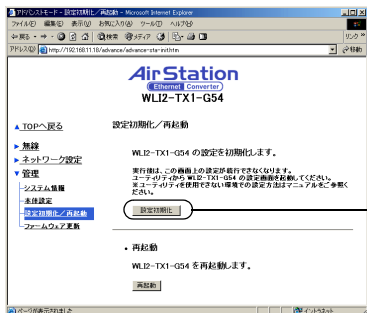
1 「WEB 設定画面を表示する」（P40）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

1 クリック ［アドバンスト］をクリックします。

3

1 クリック ［管理］をクリックします。

4

1 クリック ［初期化／再起動］をクリックします。

5 ［設定初期化］をクリックします。

6 以後は画面にしたがってください。

第4章

困ったときは

本製品を使用して発生する現象とその原因、 対策方法について説明します。

4.1 設定で困ったとき

4.1 設定で困ったとき

イーサネットコンバータマネージャで本製品が検索できません

原因①： ネットワークアダプタのドライバが正常にインストールされていません。

対策①： ネットワークアダプタのマニュアルを参照して、ドライバをインストールしてください。

原因②： LAN ケーブルが接続されていない

対策②： 本製品の前面パネルにある ETHERNET ランプやパソコン / ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタなどの LAN ポートのリンクランプが点灯しているか確認してください。ETHERNET ランプが点灯していないときは、以下の項目を確認してください。

- パソコン / ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタと本製品が、LAN ケーブル（ストレート）で確実に接続されていることを確認してください（「カチッ」と音がするまで差し込んでください）。
- 本製品の設定時は、本製品をハブには接続しないでください。必ずパソコン / ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタの LAN ポートに接続してください。
- 正常に通信できている他の LAN ケーブルを使用して、再度イーサネットコンバータマネージャから検索を行なってください。

原因③： AirStation に WEP（暗号）が設定されている（無線パソコンから AirStation を使って本製品を設定する場合）。

対策③： 無線パソコンのみの環境で本製品を導入する際は、一度、AirStation の WEP（暗号）を使用しない設定にする必要があります。AirStation の WEP（暗号）を使用しない設定にして、再度イーサネットコンバータマネージャから検索を行なってください。

原因④： DHCP サーバがネットワークに存在しない環境で、本製品の IP アドレスを自動的に取得する設定にした場合、IP アドレスの取得動作中は通信できません。（出荷時の本製品の IP アドレスは固定で「1.1.1.1」に設定されています。）

対策④： DHCP サーバがない場合は、約２分間通信することができなくなります。IP アドレスを手動で設定した後に、もう一度イーサネットコンバータマネージャで AirStation を検索してください。

原因⑤： ファイアウォールの機能が有効となっている常駐ソフトがインストールされている。

対策⑤： ファイアウォール機能を無効に設定するか、ソフトウェアをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

《トレンドマイクロ社のウイルスバスター 2003 の場合》

「パーソナルファイアウォール機能」を無効に設定した状態でご利用ください。詳細は、以下を参照してください。

手順

1 ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［トレンドマイクロ ウイルスバスター 2003］より、［ウイルスバスター 2003 設定］を選択します。
2 ウイルスバスター 2003　設定画面より、［パーソナルファイアウォール］－［セキュリティレベル］をクリックし、［セキュリティレベル設定］画面を表示します。
3 ［セキュリティレベル設定］画面より、「パーソナルファイアウォールを有効にする」の先頭にあるチェックボックスのチェックを外してください。
4 設定変更が完了したら ［適用］ をクリックし、 設定画面を終了します。

《トレンドマイクロ社のウイルスバスター 2002 の場合》

「パーソナルファイアウォール機能」 を無効に設定した状態でご利用になるか、手動設定でネットワークアダプタの IP アドレスを「信頼するコンピュータ」 として登録してください。 詳細は、 以下を参照してください。

○パーソナルファイアウォール機能を無効にする方法

1 ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［トレンドマイクロウイルスバスター 2002］－「ウイルスバスター 2002 設定」を選択します。
※ウイルスバスターが常駐している場合は、タスクトレイ上のウイルスバスターアイコンを右クリックし、「設定画面を起動」を選択します。
2 ウイルスバスター 2002 操作画面内のクイック設定より 「パーソナルファイアウォール」 のチェックボックスを外し、 ［適用］ をクリックします。

○ AirStation の IP アドレスを登録する方法

1 ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［トレンドマイクロウイルスバスター 2002］－「ウイルスバスター 2002 設定」を選択します。
※ウイルスバスターが常駐している場合は、タスクトレイ上のウイルスバスターアイコンを右クリックし、「設定画面を起動」を選択します。

2 ウイルスバスター2002の設定画面の左側のメニューから「パーソナルファイアウォール」－「信頼するコンピュータ」を選択します。

3「信頼するコンピュータ」欄にネットワークアダプタが表示されますので、チェックを入れて［適用］をクリックします。

原因⑥： 無線の電波が届いていません（無線パソコンからAirStationを使って本製品を設定する場合）。

対策⑥： AirStationと本製品との距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしてから再接続してください。

原因⑦： AirStationにMACアドレス制限設定がされています。

対策⑦： 無線パソコンからMACアドレス制限設定をしているAirStationを使って本製品を設定する場合は、AirStationに本製品の無線側MACアドレスを登録する必要があります。
MACアドレスの登録方法は各AirStationのマニュアル・オンラインガイドをご参照下さい。
また、本製品を使って通信をする機器（パソコン/ゲーム機/デジタル家電/プリンタなど）の有線側MACアドレスも登録する必要があります。

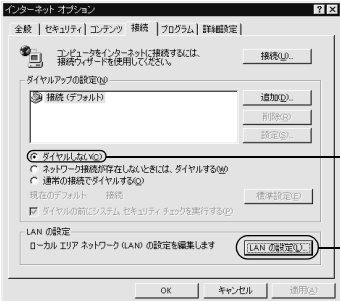
設定画面が表示されない

本製品を検索することはできますが、設定画面が表示されない。

原因①： IPアドレスの割り振りかたが間違っている。

対策①： パソコンとAirStationに同じネットワークのIPアドレスが設定されているか確認してください。IPアドレスの割り振りかたは、「IPアドレスの割り振りかたがわからない」（P67）を参照してください。

原因②： • WEB ブラウザの設定でプロキシが設定されていると、設定画面が表示されません。

• インターネット接続時にモデムやTAを使用してダイヤルするように設定されています。

対策②： 下記のいずれかの対策があります。

• プロキシサーバの存在するネットワーク環境で本製品を設定するときは、WEB ブラウザのプロキシ設定を変更する必要があります。

• WEB ブラウザの設定で、ダイヤルしない設定に変更する必要があります。
次の手順で設定をおこなってください。

Internet Explorer5.0 以降（Windows パソコン）の場合

1 Internet Explorer を起動します。

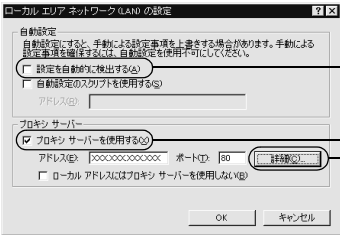
2 ［ツール］－［インターネットオプション］を選択します。

3 ［接続］をクリックします。

4

「ダイヤルしない」を選択します。

［LAN の設定］をクリックします。

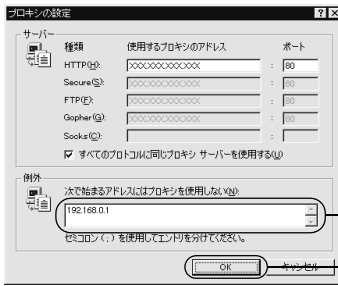
5

確認

「設定を自動的に検出する」がチェックされていない事を確認します。

クリック

「プロキシサーバーを使用する」がチェックされているときは、［詳細］をクリックします。

「プロキシサーバーを使用する」がチェックされていないときは、WEB ブラウザの設定に問題ありません。

6

1 入力 「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」欄に、本製品の IP アドレスを入力します。

2 クリック ［OK］をクリックします。

メモ 本製品の IP アドレスがわからないときは、「本製品の IP アドレスがわからなくなった」（P66）を参照して、割り当てられている IP アドレスを確認してください。

Internet Explorer5.0 以降 （Mac OS 8.6 以降） の場合

1 Internet Explorer を起動します。

2 ［編集］ ― ［初期設定］ を選択します。

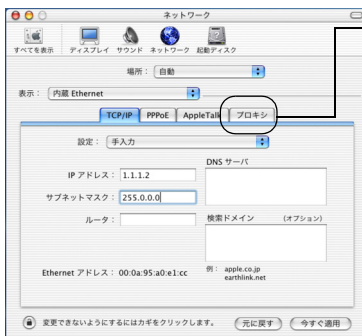
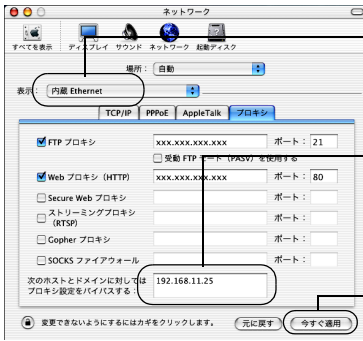
3 ［初期設定］ 画面の左側に表示されている ［ネットワーク］ ― ［プロキシ］ を選択します。

4 「WEB プロキシ」のチェックマークをはずして、［ＯＫ］をクリックします。

Safari （Mac OS X） の場合

1 ［アップルメニュー］ ― ［システム環境設定］ ― ［ネットワーク］ を選択し、TCP/IP タブで次の通りに設定します。

2

3

「内蔵Ethernet」を選択します。

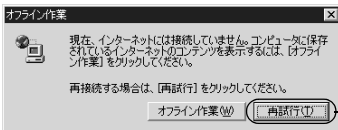
「次のホストとドメインに対してはプロキシ設定をバイパスする」欄に本製品のIPアドレスを入力します。

今すぐ適用をクリックします。

4 「システム環境設定」－「システム環境設定の終了」を選択します。

原因③： Internet Explorer5.0 を使う場合、「オフライン作業」ダイアログが表示されてしまい、設定画面が表示されません。

対策③： 以下のように表示された場合は、［接続］をクリックしてください。

以下のように表示されたときは、［再試行］をクリックしてください。

AirStation での無線パソコン制限設定が正しく動作しない

無線パソコンの制限設定をしている AirStation と通信させるため、 本製品の MAC アドレスを AirStation に登録しましたが、 正しく通信できません。

原因①： AirStation に、 本製品を接続している機器 （パソコン／ゲーム機／デジタル家電／プリンタ等）のMACアドレスが登録されていない可能性があります。

対策①： 無線パソコンの制限設定をしているAirStationと本製品を通信させる場合は、以下の 2 つの MAC アドレスを AirStation に登録することが必要です。

- 本製品の MAC アドレス
- 本製品を接続した機器 （パソコン／ゲーム機／デジタル家電／プリンタ等） の MAC アドレスを AirStation に登録する必要があります。

※ 本製品の MAC アドレスを登録しただけでは、通信できませんのでご注意ください。

本製品の IP アドレスがわからなくなった

本製品の IP アドレスがわからなくなった場合は、Windows パソコンから確認することができます。

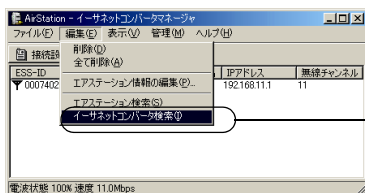
メモ Windows パソコンをお持ちでない場合は、 IP アドレスを確認することができません。設定初期化スイッチを AOSS/DIAG ランプが赤色点灯するまで （約 3 秒間） 押して初期化してから再度設定しなおしてください。

1 「本製品（子機）の設定をしよう」（P16）を参照して、 パソコンにイーサネットコンバータマネージャをインストールします。

2 ［スタート］ －［プログラム］ －［MELCO INC］ －［イーサネットコンバータ］ －［イーサネットコンバータマネージャ］ を選択します。
自動的に検索が始まります。

メモ 本製品をパソコンの LAN ポートに直接接続している場合は、 以下の手順で本製品の検索をおこなってください。

［編集］ －［イーサネットコンバータ検索］ を選択します。

3

検出した本製品のリストが表示されますので、「IP アドレス」欄で本製品の IP アドレスを確認してください。

4 ［閉じる］ をクリックして、 イーサネットコンバータマネージャを終了してください。

IP アドレスの割り振りかたがわからない

以下を参考にして、 IP アドレスを設定してください。

ネットワーク上に DHCP サーバ※が存在する場合

IP アドレスの設定を、 以下のように設定します。
WindowsMe/98/95 ： 「IP アドレスを自動的に取得」
WindowsXP/2000 ： 「IP アドレスを自動的に取得する」
WindowsNT4.0 ： 「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」

ネットワーク上のパソコンに IP アドレスがすでに割り振られている場合

パソコンに設定する IP アドレスを、 ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク上のパソコンに IP アドレスが割り振られていない場合

パソコンおよび AirStation の IP アドレスを、 以下のように設定します。

＜設定例＞

		IP アドレス	ネットマスク
AirStation	：	192.168.0.1	255.255.255.0
パソコン A	：	192.168.0.2	255.255.255.0
パソコン B	：	192.168.0.3	255.255.255.0
パソコン C	：	192.168.0.4	255.255.255.0
・			
パソコン X	：	192.168.0.254	255.255.255.0

※ DHCP サーバは、ネットワーク上のパソコンに IP アドレスを自動的に割り振るサーバです。 Windows Server 2003/Windows 2000/NT サーバやブロードバンドルータなどの、 DHCP サーバ機能が内蔵された機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバ機能が動作している場合があります。Windows Server 2003/Windows 2000/NT サーバやブロードバンドルータの、DHCP サーバ機能が動作しているかどうかは、Windows Server 2003/Windows 2000/NTサーバのマニュアルまたはブロードバンドルータのマニュアルを参照するか、 メーカにお問い合わせください。
ネットワーク上に WindowsMe/98/95 のパソコンしかないときは、 DHCP サーバは存在しません。

第 5 章

設定画面一覧

WEB 設定画面の各設定項目に関する説明をしています。

5.1 設定画面の機能一覧

5.1 設定画面の機能一覧

■ アドバンストモードの機能一覧 （無線）

メモ 設定画面について、 詳しくは設定画面上のヘルプを参照してください。

項目	説明	出荷時設定
無線設定		
ESSID（SSID）	ESSID（SSID）を設定します。	設定なし
動作モード	無線の動作モードを設定します。 ※ AirStation に接続する場合は、「エアステーション経由通信」を選択してください。「無線 LAN パソコン間通信（WiFi）」 は AirStation がない場合、無線アダプタ同士で通信するときに使用します。弊社製品の 「無線 LAN パソコン間通信」 とは互換性はありません。	エアステーション経由通信
無線チャンネル	無線チャンネルを設定します。（1 ～ 13） メモ 動作モードが 「無線 LAN パソコン間通信 （WiFi）」 のときのみ設定できます。	11 チャンネル
暗号化キー（WEP）	暗号化をするためのキーワードを設定します。 メモ 文字列入力と 16 進数入力が選択できます。 文字列入力の場合、半角英数字（大文字／小文字の区別あり）および半角アンダーバー "_" を 5 文字または 13 文字入力できます。16 進数入力の場合は、0 ～ 9 および A ～ F の 10 桁または 26 桁入力できます。	暗号化しない
無線モード	無線モードを設定します。	11b(11M)-WiFi
BSS Basic Rate Set	無線LANパソコンと制御通信時の通信速度の設定を行います。	All

項目	説明	出荷時設定
フレームバースト	フレームバーストモードは転送時にフレームを連続して送信することにり、通信速度を向上させることができます。 メモ ・フレームバースト機能を十分に活用するには、別途フレームバースト機能に対応した無線アクセスポイントまたは無線 LAN アダプタが必要です。 ・複数の無線 LAN パソコンがフレームバーストモードで動作している場合は、パフォーマンスが向上しないことがあります。	使用する
無線送信出力	無線電波の出力を設定します。無線送信出力と電波の到達距離は、ほぼ比例するため、無線送信出力を低くした場合、到達距離も短くなります。	100%

■ アドバンストモードの機能一覧 （ネットワーク設定）

メモ 設定画面について、詳しくは設定画面上のヘルプを参照してください。

項目	説明	出荷時設定
ネットワーク設定		
IP アドレス	本製品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。	IP アドレス：「1.1.1.1」 サブネットマスク：「255.255.255.0」

■ アドバンストモードの機能一覧 （管理）

項目	説明
システム情報	
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンを表示します。
イーサネットコンバータ名	本製品の名称を表示します。

項目	説明
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスを表示します。 メモ　AirStation で MAC アドレスによる無線 LAN 接続制限する場合は、 本製品の MAC アドレスとパソコン / ゲーム機 / デジタル家電 / プリンタなどの接続機器 MAC アドレスを登録します。
無線部ファームウェア	本製品に内蔵されている無線カードとファームウェアバージョンを表示します。
接続機器 MAC アドレス	本製品に有線で接続している機器のMACアドレスを表示します。 メモ　AirStation で MAC アドレスによる無線 LAN 接続制限する場合は、 本製品の MAC アドレスとパソコン / ゲーム機 / ネットワークパソコンなどの接続機器MACアドレスを登録します。
ESSID(SSID)	現在接続している AirStation の ESS-ID を表示します。 ESS-ID は、イーサネットコンバータと、AirStation のそれぞれに保存され、一致した場合にのみ通信を行います。 接続できない場合は [--] と表示されます。
無線チャンネル	無線で使用する電波のチャンネルを表示します。 動作モードが［エアステーション経由通信］のときは、接続している AirStation のチャンネルに自動で合わせます。 動作モードが［無線パソコン間通信 (WiFi)］のときは、指定したチャンネルを使用します。
動作モード	無線アクセス方法を表示します。
BSS-ID	接続している AirStation の識別番号を表示します。動作モードが[無線パソコン間通信(WiFi)]のときは表示されません。
電波状態	現在の無線の電波状態を表示します。
手動設定または DHCP サーバから取得	本製品の IP アドレスの設定方法を表示します。 ※ DHCP サーバから IP アドレスを取得したときは、DHCP サーバの IP アドレスも表示されます。
IP アドレス／サブネットマスク	本製品の IP アドレス／サブネットマスクを表示します。
本体設定	
イーサネットコンバータ名	本製品の名称を設定します。 半角英数字記号（大文字／小文字の区別あり）を 32 文字まで入力できます。
管理ユーザ名	本製品の設定画面へログインする際のユーザ名です。
管理パスワード	本製品の設定画面へログインする際のパスワードを設定します。

項目	説明
設定機能アクセス制限	無線側もしくは有線側からの設定許可／禁止の設定を行います。無線側、有線側両方からの設定を禁止した場合、本製品の設定初期化スイッチを押して、出荷時設定に戻さない限り、設定状態を表示／変更を行うことはできません。
設定初期化／再起動	
「設定初期化」ボタン	本製品の設定を初期化します。
「再起動」ボタン	本製品を再起動します。設定は初期化されません。
ファームウェア更新	
ファームウェアファイル名	弊社ホームページからダウンロードしたファームウェアファイルを指定します。
「ファームウェア更新」ボタン	ファームウェアを更新します。

第 6 章

用語集

ネットワーク関連の用語について説明しています。

6.1 ネットワーク関連の用語

6.1 ネットワーク関連の用語

■ 英語表記や略記が一般的な用語

アルファベット順に説明します。英語の後にカタカナ表記が続く用語もここで説明します。

DHCP サーバ（Dynamic Host Configuration Protocol）

TCP/IP でネットワークを構築するときは、必ず各パソコン等の機器に IP アドレスを設定する必要があります。
DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンやエアステーションに IP アドレスを自動的に割り振ることができます。Windows Server 2003/Windows 2000/NT サーバやブロードバンドルータなどの DHCP サーバ機能が内蔵された機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバ機能が動作している場合があります。
Windows Server 2003/Windows 2000/NT サーバやブロードバンドルータの DHCP サーバ機能が動作しているかどうかは、Windows Server 2003/Windows 2000/NT のマニュアルまたはブロードバンドルータのマニュアルを参照するか、メーカにお問い合わせください。ネットワーク上に下記のパソコンしかないときは、DHCP サーバは存在しません。

・Windows XP Professional/Home Edition

・Windows 2000 Professional

・Windows Me/98/95

・Mac OS

ESS-ID（SSID）【（Extended）Service Set ID】

無線 LAN パソコンと AirStation の通信時に混線しないための ID です。
AirStation と同一の ESS-ID（SSID）を設定した無線 LAN パソコンが、AirStation と通信できます。ESS-ID（SSID）は、大文字・小文字の区別があり、半角英数字および半角記号が 32 文字まで入力できます。

LAN（Local Area Network）

「ラン」と発音します。１つの建物の中やキャンパスの敷地内など比較的狭い地域でのネットワークです。10Mbps ～ 100Mbps の伝送速度が一般的です。

MAC アドレス（Media Access Control Address）

ネットワーク機器ごとの固有の物理アドレスです。
MAC アドレスは、先頭からの 3 バイトのベンダコードと残り 3 バイトのユーザコードの 6 バイトで構成されます。
ベンダコードは、IEEE が管理／割り当てを行っており、ユーザコードは、ネットワーク機器の製造メーカが独自の番号（重複はしない）で管理を行っています。つまり、MAC アドレスは、世界中で単一の物理アドレスが割り当てられています。Ethernet ではこのアドレスを元にしてパケット（フレーム）の送受信を行っています。

TCP/IP（Transmission Control Protocol ／ Internet Protocol）

OSI 参照モデルのネットワーク層とトランスポート層に相当するプロトコルで､RFC によって定義されています。
そのため、TCP/IP を実行していれば異なる端末間で互いに通信することができます。

- 通常は、TELNET や FTP といったアプリケーションプロトコルも含まれます。
- インターネット標準のプロトコルです。

WEP［暗号化］（Wired Equivalent Privacy：ウェップ）

AirStation に暗号キーを設定することにより、外部からの無線パケット解析を防ぐことができます。暗号キーを設定した AirStation と通信をする場合は、クライアントマネージャ上から設定された暗号キーを入力する必要があります。

Wi-Fi（the Standard for Wireless Fidelity : ワイファイ）

無線 LAN 技術の推進団体 Wi-Fi Alliance（旧称 WECA：Wireless Ethernet Compatibility Alliance）では、無線 LAN の相互接続性テストをおこなっており、テストをクリアした製品にのみ「Wi-Fi」ロゴが与えられます。

■　カタカナ表記が一般的な用語

50 音順に説明します。カタカナのあとに英語表記が続く用語も説明します。

ファームウェア

ルータ／モデム／TAなどのハードウェアに組み込まれているソフトウェア（プログラム）のことです。
ハードウェアに組み込まれているソフトウェアなので、ハードウェアとソフトウェアの中間的なものといえます。

プロトコル

ネットワーク端末間でデータの受け渡しを行うための手順や規則です。例えば、2 つのコンピュータが通信を行う場合に、どちらが先にどのようなメッセージを送信するか、また、そのメッセージを受けてどのようなメッセージを返すか、データの形式はどうなっているか、通信エラーの対応など、通信を行ううえで必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達を行うことができます。

無線チャンネル

同一のフロアに、ESS-ID（SSID）の異なる無線 LAN ネットワークがいくつかあるとき、他の無線 LAN ネットワークで通信していると、通信速度が遅くなることがあります。これは、同じ周波数の電波を使用しているためです。この場合は、それぞれの無線 LAN ネットワークごとに使用する電波の周波数（無線チャンネル）を重複しないように設定することで、他の無線 LAN ネットワークに相互干渉もなく通信することができます。

※　無線 LAN で通信する場合は、必ず無線チャンネルを同一の設定にする必要があります。

第 7 章

仕様

本製品の製品仕様を記載しています。

7.1 製品仕様

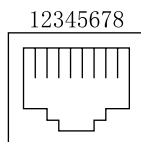
■ 仕様

無線 LAN インターフェース部	準拠規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b
		ARIB STD-T66 小電力データ通信システム規格
	伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS）方式 直交周波数分割多重（OFDM）方式 単信（半二重）
	データ伝送速度	6/9/12/18/24/36/48/54Mbps（IEEE802.11g） 1/2/5.5/11Mbps （IEEE802.11b）
	アクセス方式	インフラストラクチャモード Wi-Fi 規格アドホックモード
	周波数範囲 （中心周波数）	2412 ～ 2472MHz（1ch ～ 13ch） ※携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しません
有線 LAN インターフェース部	準拠規格	IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3（10BASE-T）
	データ転送速度	10/100Mbps（自動認識）
	データ伝送モード	半二重 / 全二重（自動認識）
	伝送路符号化方式	4B5B、MLT-3（100BASE-TX） マンチェスターコーディング（10BASE-T）
	ポート	100BASE-TX/10BASE-T 兼用ポート X1（AUTO-MDIX）
消費電力／消費電流	4.0W（最大）／ DC850mA（最大）	
動作環境	温度	0 ℃～ 40 ℃
	湿度	20% ～ 80%（結露なきこと）
重量	130g （AC アダプタを含まず）	
外形寸法	56（W）× 120（H）× 92（D）mm	

メモ 最新の製品情報や対応機種については、 カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp） を参照してください。

7.2 ポート仕様

■ LAN ポート仕様

コネクタ形状　（RJ-45 型 8 極コネクタ）

ピン番号	信号名	信号機能
1	RD+/TD+	受信データ（＋）/ 送信データ（＋）
2	RD-/TD-	受信データ（－）/ 送信データ（－）
3	TD+/RD+	送信データ（＋）/ 受信データ（＋）
4	（Not Use）	未使用
5	（Not Use）	未使用
6	TD-/RD-	送信データ（－）/ 受信データ（－）
7	（Not Use）	未使用
8	（Not Use）	未使用

※ AUTO-MDIX 機能により、 送信 / 受信データを自動的に切り替えます。

切り取り

切り取り

保 証 契 約 約 款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却ください。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条（定義）
1 この約款において、「保証書」とは、製品名および保証期間を予め記入したうえで弊社が修理を保証する旨を約して発行された証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない場合をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障箇所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障箇所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条（無償保証）
1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内にあっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご呈示頂けない場合。
3 ご呈示頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo.等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いがある場合。
4 お客様が製品をお買いあげ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
5 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
6 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地異、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
7 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り替える場合。
8 全各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第3条（修理）
この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
1 修理のご依頼時には製品を弊社修理センターにご送付ください。修理センターについては本紙「修理について」をご確認ください。
尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
2 修理は、製品の分解または部品の交換若しくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理価格が製品価格を上回る場合には、補償対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換することにより対応させていただくことがあります。
3 ハードディスクの修理に関しましては、修理の内容により、ディスク若しくは製品を交換する場合またはディスクをフォーマットする場合などがございますが、修理の際、弊社が記憶されたデータについてバックアップを作成致しません。
4 無償保証により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させていただきますが、修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品致します。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第4条（免責事項）
1 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修理しまたは瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
3 弊社における保証は、お客様がご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条（有効範囲）
この約款は、日本国内においてのみ有効です。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

切り取り

保　証　書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件の下に置いて修理を致します。

・修理は必ずこの保証書を添えてご依頼ください。
・この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

株式会社バッファロー

本社　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通四丁目15番

お　名　前	フリガナ
ご　住　所	〒 TEL：（　　　）　　　ー

製　品　名	WLI2-TX1-G54
保証期間	ご購入日より１年間
ご購入日 ※販売店様記入欄	年　　月　　日 ご購入日が確認できる書類（レシートなど）を添付の上、修理をご依頼ください。

※以下は弊社内での業務連絡として使用しますのでお客様はご記入なさらないでください。

年　月　日	サ　ー　ビ　ス　内　容	担　当

切り取り

お問い合わせ・修理窓口

お問い合わせ、修理については、以下の順にてお願い致します。

1 マニュアル、オンラインガイドにて設定内容・トラブルシューティングをご確認ください。

2 弊社ホームページにて最新Q&A情報、最新ドライバ・ファームウェアをご確認ください。

インターネット

製品情報　　buffalo.jp
サポート情報　　86886.jp（ハローバッファロー）

3 上記で改善しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。

バッファローサポートセンター

お問合せの際は、以下「必要な情報」③〜⑦をあらかじめご確認ください。

電話でのお問い合わせ先　※電話番号のお掛け間違いがないようご注意ください。

【電話窓口】

電話番号　(東　京)　03-5781-7435　月〜金　9:30-19:00　土　9:30-18:00
電話番号　(名古屋)　052-619-1825　月〜金　(祝日除く) 9:30-17:00

【有料電話窓口】 電話番号　03-5781-7619　365日　9:30-21:00

・対象製品　弊社ネットワーク製品(法人向け製品を除く)
・費用：2,100円/案件(税抜 2,000円)
・支払方法：クレジットカード(NICOS、VISA、MASTER、JCB、アメリカン・エキスプレス)

手紙でのお問い合わせ先　住所　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15

4 修理は、以下へご依頼ください。　※修理に送られる際、弊社への事前連絡は不要です。

バッファロー修理センター

保証書について　修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理web予約　弊社ホームページより修理のweb予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。
http://buffalo.jp/shuri/
送付先住所　〒456-0023　愛知県名古屋市熱田区六野二丁目１番３号　中京倉庫２７号棟
株式会社バッファロー修理センター　受付宛
電話番号　052-883-0570　※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。
送付いただく物　本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理票(*)
*修理票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理票添付が困難な場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】

※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、Link Stationは、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容（接続ユーザ名/パスワード/無線暗号キー（WEP）等）を消去します。
修理完了後、再度設定が必要となりますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後10日程度（弊社営業日数）を予定しております。

5 ユーザ登録について
弊社ホームページ（https://online.buffalo.jp/）ユーザ登録が可能です。
※ユーザ登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

必要な情報

①返送先（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
②平日昼間の連絡先（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境(パソコン機種名、OS(Windows XP等)、周辺機器)
⑧製品以外の添付品(ACアダプタ、ケーブルなど)

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.